

湘南中央病院 年報

第 24 号
(2023 年度版)



2024 年 10 月



湘南わかばグループ
(特定医療法人社団若林会)

湘南中央病院 年報（2023年度）

目次

基本理念・基本方針	-----	3
患者さんの権利	-----	4
湘南わかばグループ職員の倫理綱領	-----	5
院長のこトバ	病院長 池田全良 -----	6
第1部 湘南中央病院		
1 病院紹介	-----	8
2 医療法人社団若林会の沿革と組織	-----	10
1 沿革		
2 組織図		
3 職員の状況	-----	12
4 湘南中央病院の診療活動	-----	13
1 新患地区別統計		
2 年齢別外来延べ患者数		
3 外来患者各科別統計・紹介患者統計		
4 病棟別退院患者統計		
5 手術件数		
6 透析センター患者状況		
7 医療安全・インシデントアクシデントレポート分析		
8 施設基準届出一覧		
9 提携医療機関		
5 診療部	-----	22
1 診療部概要		
2 各診療科紹介		
6 看護部	-----	29
1 看護部報告		
2 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度		
3 3階 回復期リハビリテーション病棟		
4 4階 急性期病棟		
5 5階 地域包括ケア病棟		
6 6階 療養病棟		
7 7階 緩和ケア病棟		
8 外来		
9 手術・中央材料室		
10 透析センター		
11 ボランティア室		
12 看護部教育担当		
13 看護部主催会議・委員会		
14 湘南わかばグループ・看護部 その他の実績		
7 診療技術部	-----	38
1 薬局		
2 放射線課		
3 臨床工学課		
4 臨床検査課		
5 内視鏡室		
6 リハビリテーションセンター		
7 栄養管理室		

8	健康管理センター	-----	42
9	事務部	-----	42
	1	医事課	
	2	総務課	
	3	人事・広報課	
	4	営業推進室	
	5	IT 推進室	
10	診療支援部門	-----	44
	1	診療情報管理室	
	2	地域医療連携室 / 患者・家族相談室	
	3	医療安全管理室	
11	わかば保育園	-----	47

第2部 湘南わかばグループ 施設紹介

1	わかば訪問看護ステーション	-----	49
2	若林会居宅介護支援事業所	-----	50
3	藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）	-----	51
4	介護老人保健施設 湘南わかば苑	-----	52

第3部 法人活動

1	定例会議・委員会	-----	58
2	研究実践実績	-----	59
3	中堅幹部職員研修会	-----	60
4	実習生受け入れ状況	-----	61
5	湘南わかばグループ年間行事	-----	61
6	湘南わかばグループの地域活動	-----	62
7	施設案内	-----	63
	年報編集委員	-----	66

[基本理念]

地域の人々とともに歩み

健康を守り良質な医療と介護を提供します

[基本方針]

いつでも受けられる医療・介護

地域に出る医療・介護

包括的な医療・介護

納得づくりの医療・介護

患者さんの権利

1. 患者さんには、良質な医療を公平に受ける権利があります
2. 患者さんには、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります
3. 患者さんには、治療法などをご自分の意思で選ぶ権利があります
4. 患者さんには、治療法などについて他の医師に相談する権利があります
5. 患者さんには、ご自分の診療記録の開示を求める権利があります
6. 患者さんには、ご自分の個人情報の秘密が守られる権利があります

湘南わかばグループ職員の倫理綱領

何よりもまず、私たちは、人々の人間としての尊厳と一人ひとりの価値観を尊重します。

そして私たちグループの「理念」「基本方針」の実践にあたり、以下のことを誓います。

1. 私たちは、医療・介護において最高の水準を保つべく学術的研鑽と人格の涵養に常に努め、また良質な医療・介護の継続のため、後輩の育成に努めます。
2. 私たちは、個人の人格を尊重し、思想・信条・社会的地位・性別その他さまざまな違いがあっても、対象となる人々に平等に医療・介護を提供します。
3. 私たちは、職務上知り得た個人の秘密を守ります。
4. 私たちは、医療及び介護のあらゆる局面において人々の安全の確保に努めます。
5. 私たちは、互いに他職種の人々を尊敬し、協力し合って職務の遂行に努めます。
6. 私たちは、医療・介護の公共性を重んじ、法規範を遵守し、人道にそった行動と言動に努めます。
7. 私たちは、不当な報酬を求めません。

院長のことば

2023 年度年報によせて

院長 池田 全良

当法人の地域医療への取り組みを“年報”としてお届けする運びとなりましたことを大変喜ばしく感じます。今年度も編集委員をはじめとして刊行の編集に携わって頂きました関係各位のご努力に深く感謝いたします。

平素から当院をご利用頂いております地域の方々には感謝申し上げます。また、常日頃から当院との連携でお世話になっております医療関係の皆様にはお礼申し上げます。

さて、2023 年 5 月 8 日より新型コロナウイルス感染症は感染症法上、「2 類相当」からインフルエンザ相当の「5 類」へと危険レベルが引き下げられました。当院の 2023 年度は漸くコロナ禍を脱却してポストコロナにフェーズとして、病院運営はコロナ前のような状況に戻っていくことを期待しておりました。しかしながら、外来の患者数、救急患者の受け入れ状況、病床の利用率とどれを取ってみても中々直ぐにコロナ前の状態に戻りませんでした。2024 年 4 月からは医師の働き方改革の新制度が始まりましたが、当院に於いては時間外労働が年 960 時間を超えるスタッフはおらずこの制度の A 水準が適応されます。医師がそれを意識して外来患者数や入院患者数が伸び悩むわけでもないでしょうが、ここぞというところで活躍する頼もしいスタッフは揃っていると思っていますのでそれを信じてエールを送っていきたいと思います。

さて、2016 年より当法人の理事長を務められてこられた長田博昭先生が昨年度で退職されました。先生は大学の呼吸器外科教授を退官後、当院の院長・理事長として安定した病院運営のため、病棟機能の転換による新型コロナウイルス感染症対応をはじめ病院経営を優先した健診センターの活動縮小、法人の事業拡大・発展のためのスペース創出の検討など法人のために尽力していただきました。在職中には先生の人生と外科医としての生き様を著した「或る外科医の一代記」からは全人的な医学教育を旨としたお人柄もうかがえると思います。私は個人的には寂しい限りですが、これまでのご功勞に感謝申し上げる次第です。

2024 年度からは呉鐵仁新理事長のもとで、健診事業の再開や電子カルテの導入など、事業計画はリニューアルされました。今後とも皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第 1 部

湘南中央病院

1 病院紹介

地域の人々の健康と安心を守って

1955（昭和 30）年、故若林巖初代理事長が辻堂駅北側に外科医院を開設して以来、湘南中央病院は藤沢市西南部の地域医療を担ってきました。急性期医療からリハビリテーション、在宅医療、緩和ケアまで、地域の医療ニーズに応じて包括医療を実践してきています。

2006（平成 18）年、創立 50 周年の節目に新しい病院づくりに取り組み、これまでの急性期（一般）病棟に加え、回復期リハビリ病棟・療養病棟・緩和ケア病棟を開設、災害時の病院機能を保証するため病院建物に免震構造を採用しました。

2013（平成 25）年に在宅診療部門を新設し、2014（平成 26）年に急性期（一般）内科病棟を「地域包括ケア病棟」と、急性期病棟（外科・整形・泌尿器・内科）として改編しました。2015（平成 27）年に、当院は創立 60 周年を迎えることができました。

2018（平成 30）年は、HOLOGIC 社製のハイエンド骨密度測定装置を配備し、DEXA 法により体厚のある受診者の画像もより鮮明に抽出できるようになりました。また、最新型高性能 MRI を更新しました。（優れた環境性・高精細な画像・短い検査時間）

2020（令和 2）年は、新型コロナウイルス感染症により、3 月に帰国者接触者外来を設置、また 11 月に発熱者外来を設置しました。

2023（令和 5）年に「日本医療機能評価機構」の認定病院として 5 回目の更新を終えました。

地域の医療機関や患者さんとのコミュニケーションが円滑に進むよう地域医療連携室を強化し、また多職種によるチーム医療を実践していきます。

また併設施設として、介護老人保健施設 湘南わかば苑、わかば訪問看護ステーション、若林会居宅介護支援事業所、藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）があり、地域包括ケアシステムを構築しています。



住所：〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥1丁目3番43号

☞ JR 辻堂駅 東改札 北口より徒歩 8 分

（JR 辻堂駅北口よりシャトルバスあり）

土地：7,095.89㎡（2,146.5 坪） 延床面積： 11,324.52㎡（3,425.7 坪）

建物：鉄筋コンクリート造 7 階建、免震構造



総合案内



外来待合ホール



健康管理センター



MRI



リハビリテーションセンター



病院北西側

標榜科目

内科 消化器内科 消化器外科
 外科 整形外科 皮膚科 肛門外科
 リハビリテーション科 呼吸器内科
 神経内科 循環器内科 放射線科
 心療内科 泌尿器科 緩和ケア内科
 精神科 腎臓内科（人工透析）
 糖尿病内科 内分泌内科

病棟および機能

緩和ケア病棟／16床 療養病棟／43床
 地域包括ケア病棟／52床 急性期病棟／52床
 回復期リハビリ病棟／36床 計199床
 透析センター／35床 在宅診療

地域ケア部門

- ・わかば訪問看護ステーション
- ・若林会居宅介護支援事業所
- ・藤沢市明治いきいきサポートセンター
（地域包括支援センター）

- ・日本医療機能評価機構 認定病院
- ・日本整形外科学会認定医制度研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・National Clinical Database 施設

- ・日本手外科学会基幹研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・神奈川県災害協力病院

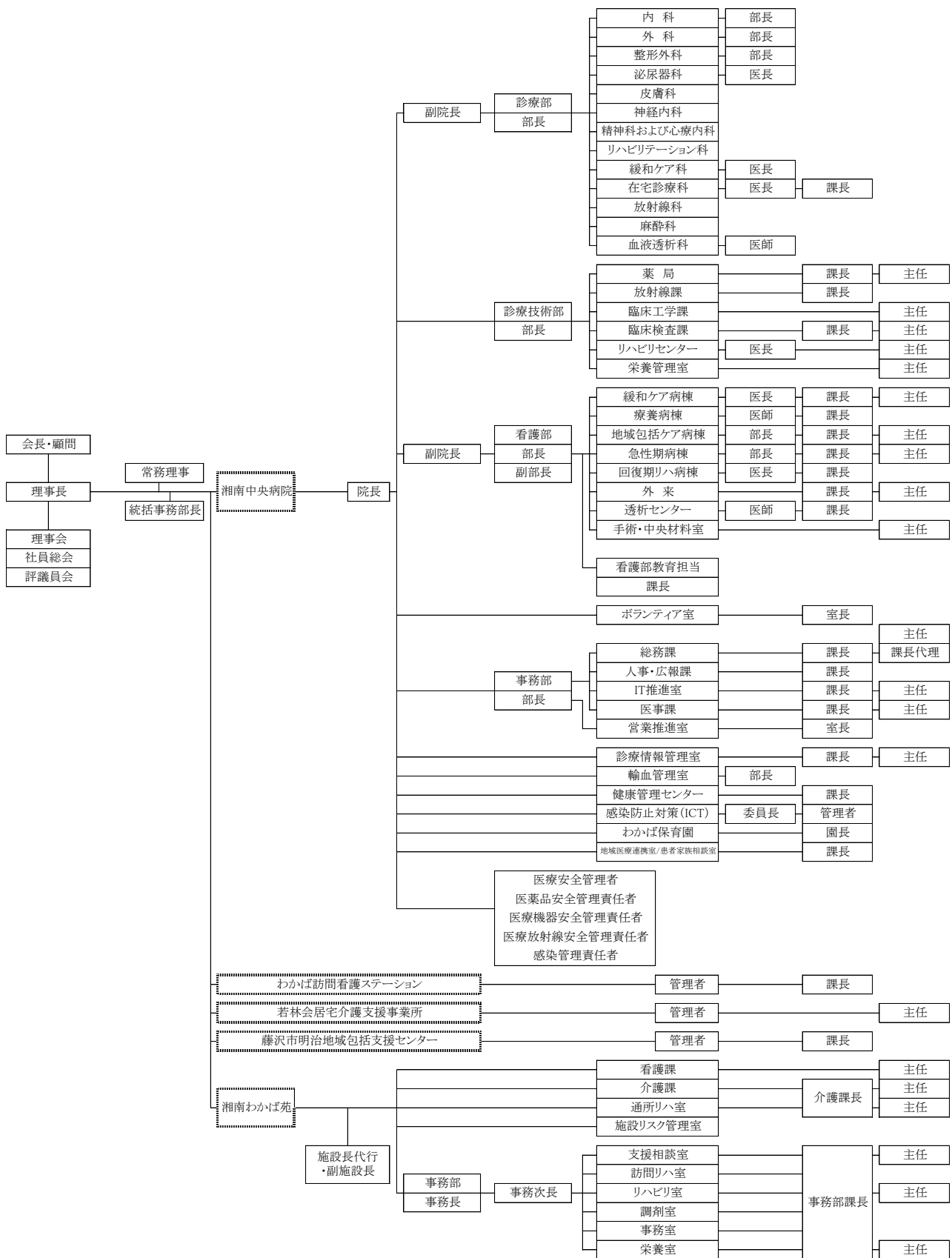
医療法人社団若林会の沿革と組織

(1) 沿革

- 1955年 故若林巖先生が「若林外科医院」を設立(19床)
- 1959年 「若林外科病院」を開設(35床)
- 1962年 病院を増築増床(68床)
- 1964年 医療法人若林会を設立、病院を「湘南中央病院」と改称
- 1979年 **新病院を建設・移転(50床)**
- 1981年 **大蔵省より特定医療法人の認可を得る**
- 1984年 病院を増築・増床(102床)
- 1986年 医療相談室を開設 在宅訪問看護を開始
- 1993年 「湘南わかばクリニック」を開設(血液透析ベッド24床)
- 1994年 「わかば訪問看護ステーション」開設
「若林会在宅介護支援センター」開設
- 1999年 「若林会居宅介護支援事業所」開設
若林信子医師 名誉院長就任
今井重信医師 理事長就任
- 2000年 「介護老人保健施設 湘南わかば苑」開設
- 2001年 「湘南わかばグループ」結成
- 2002年 **(財)日本医療機能評価機構の『認定証』を受ける**
- 2004年 新病院建設着工
- 2005年 臨床研修(管理型)病院の指定
- 2006年 **新病院開院(2月1日)**
永瀨成夫医師 病院長就任、地域医療連携室/患者・家族相談室の新設
一般病棟・療養病棟オープン
緩和ケア病棟オープン(3月1日)
病床数 199床(4月1日)
回復期リハビリ病棟オープン(5月1日)
藤沢市第5地域包括支援センター開設(4月1日) ※現:「藤沢市明治いきいきサポートセンター」
- 2007年 **(財)日本医療機能評価機構の『認定証 Ver.5.0』を受ける**
明治市民センター30周年・ふるさとまつりにて「健康フェスティバル」を実施
- 2008年 湘南中央病院「わかば保育園」設置(5月12日)
- 2012年 **(財)日本医療機能評価機構の『認定証 Ver.6.0』を受ける**
- 2014年 回復期リハビリ病棟入院料1・体制強化加算取得
5階一般病棟を地域包括ケア病棟に名称変更、地域包括ケア病棟入院料1取得
4階一般病棟を急性期病棟へ名称変更
長田博昭医師 病院長就任
- 2015年 湘南中央病院創立60周年記念事業開催
- 2016年 今井重信医師 会長・名誉院長就任
長田博昭医師 理事長就任(病院長兼務)
- 2017年 **(財)日本医療機能評価機構の『認定証 3rdG Ver.1.1』を受ける**
池田全良医師 病院長就任
- 2020年 新型コロナウイルス 帰国者・接触者外来、発熱外来設置
- 2021年 新型コロナウイルス対応により緩和ケア病棟を閉鎖、陽性者を受入(8月)
- 2022年 緩和ケア病棟再開(4月)
- 2023年 望月孝俊医師、名誉院長就任
(財)日本医療機能評価機構の『認定証 3rdG Ver.2.0』を受ける
- 2024年 呉鐵仁医師 理事長就任

(2) 医療法人社団若林会 組織図

2024年6月1日現在



3 職員の状況（2024年3月末現在）

※ 単位：人（ ）内は非常勤人数

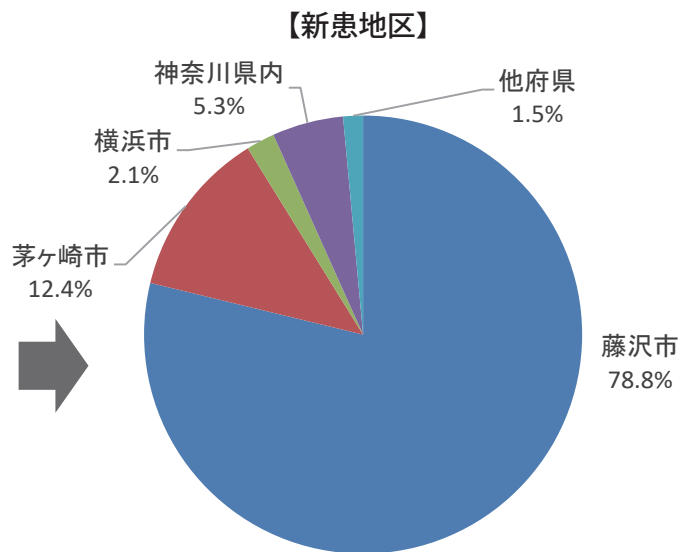
職 種	湘南中央病院	わかば訪問看護 ステーション	明治地域包括 支援センター	若林会居宅 介護支援 事業所	湘南わかば苑	合計
医 師	48 (30)	-	-	-	1	49
看 護 師	137 (32)	7 (1)	1	-	4 (1)	149
保 健 師	1 (1)	-	-	-	-	1
准看護師	5 (1)	-	-	-	4 (2)	9
介護福祉士	18 (3)	-	-	-	33 (15)	51
ヘルパー	25 (14)	-	-	-	8 (7)	33
ヘルパー補助	-	-	-	-	1 (1)	1
クラーク・秘書	20 (18)	-	-	-	-	20
薬 剤 師	12 (2)	-	-	-	1 (1)	13
放射線技師	7	-	-	-	-	7
臨床検査技師	8	-	-	-	-	8
理学療法士	15 (1)	2 (1)	-	-	3	20
作業療法士	10	1	-	-	6 (1)	17
言語聴覚士	3	-	-	-	1	4
リハビリ助手	1 (1)	-	-	-	-	1
臨床工学技士	4	-	-	-	-	4
管理栄養士	3 (1)	-	-	-	1	4
主任介護支援専門員	-	-	2	3	-	5
介護支援専門員	-	-	-	2	1	3
社会福祉士	6 (1)	-	3	-	-	9
MSW・相談員	1	-	-	-	1	2
事務職員	58 (29)	1 (1)	-	-	6 (2)	65
診療情報管理士	1	-	-	-	-	1
保 育 士	6 (4)	-	-	-	-	6
運 転 手	-	-	-	-	5 (5)	5
計	389 (138)	11 (3)	6	5	76 (35)	487

4 湘南中央病院の診療活動

(1) 新患地区別統計

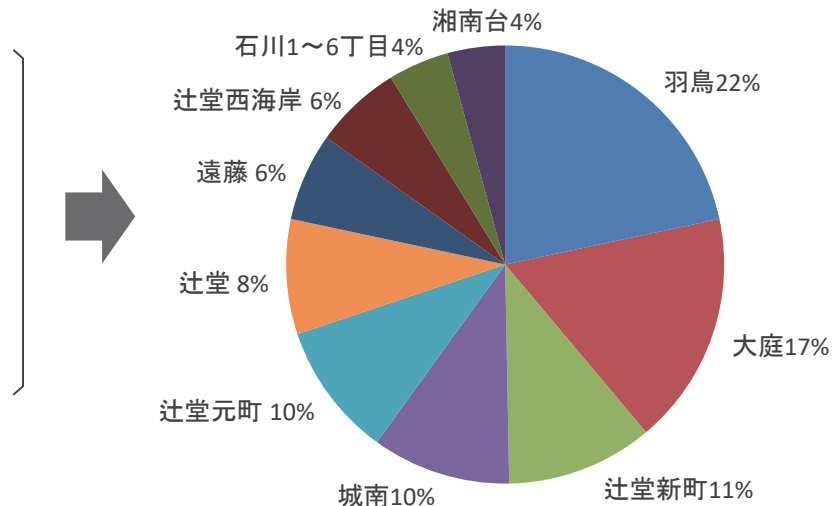
新患合計	4,376 名
------	---------

エリア	人数	割合
藤沢市	3,448	78.8%
茅ヶ崎市	542	12.4%
横浜市	92	2.1%
神奈川県内	230	5.3%
他府県	64	1.5%



【藤沢市 上位 10 エリア】

エリア	人数	割合
羽鳥	444	12.88%
大庭	353	10.24%
辻堂新町	222	6.44%
城南	210	6.09%
辻堂元町	203	5.89%
辻堂	174	5.05%
遠藤	133	3.86%
辻堂西海岸	132	3.83%
石川1～6丁目	92	2.67%
湘南台	87	2.52%
鶴沼海岸	86	2.49%
辻堂東海岸	83	2.41%
辻堂神台	78	2.26%
善行	70	2.03%
藤沢	70	2.03%
本鶴沼	69	2.00%
亀井野	62	1.80%
辻堂太平台	57	1.65%
鶴沼神明	54	1.57%
本藤沢	45	1.31%
善行団地	40	1.16%
稲荷	37	1.07%
鶴沼桜が岡	36	1.04%
高倉	31	0.90%
大鋸	30	0.87%
善行坂	29	0.84%
石川	26	0.75%
鶴沼藤が谷	26	0.75%
本町	26	0.75%
片瀬	25	0.73%
天神町	25	0.73%
鶴沼松が岡	24	0.70%
長後	24	0.70%
下土棚	23	0.67%
白旗	22	0.64%



エリア	人数	割合
西富	21	0.61%
藤が岡	21	0.61%
立石	20	0.58%
弥勒寺	19	0.55%
片瀬山	18	0.52%
川名	18	0.52%
鶴沼橘	16	0.46%
菖蒲沢	16	0.46%
円行	13	0.38%
打戻	12	0.35%
片瀬海岸	11	0.32%
用田	11	0.32%
鶴沼東	10	0.29%
西俣野	10	0.29%
渡内	9	0.26%
鶴沼石上	8	0.23%
宮原	8	0.23%

エリア	人数	割合
村岡東	8	0.23%
みその台	6	0.17%
南藤沢	6	0.17%
葛原	5	0.15%
朝日町	4	0.12%
今田	4	0.12%
柄沢	4	0.12%
鶴沼	4	0.12%
宮前	4	0.12%
江の島	3	0.09%
鶴沼花沢町	3	0.09%
瀬郷	2	0.06%
花の木	2	0.06%
片瀬目白山	1	0.03%
小塚	1	0.03%
土棚	1	0.03%
並木台	1	0.03%

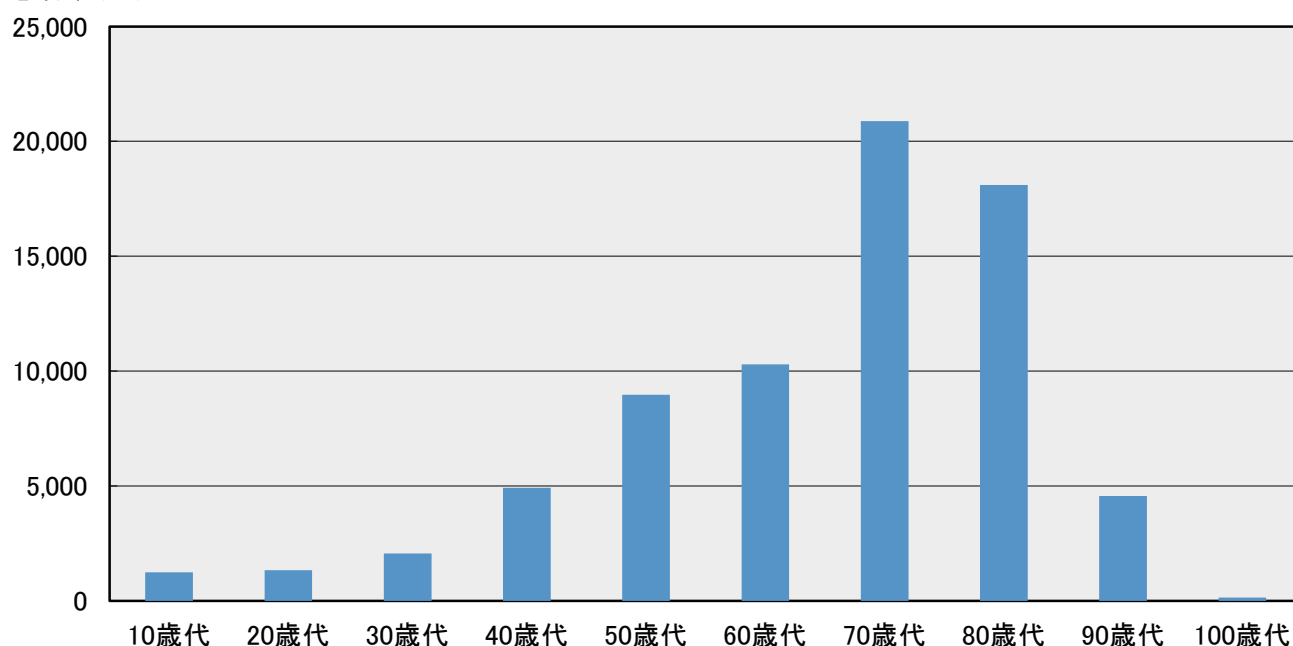
(2) 年齢別外来延べ患者数 (2023年4月～2024年3月)

(単位：人)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
²⁰²³ 4月	106	133	173	429	690	893	1,695	1,491	394	15	6,019
5月	115	102	163	413	749	860	1,741	1,516	369	8	6,036
6月	122	108	204	434	783	834	1,748	1,562	396	12	6,203
7月	124	136	204	462	819	889	1,786	1,567	371	11	6,369
8月	140	157	213	503	805	858	1,837	1,585	391	23	6,512
9月	105	109	178	437	784	839	1,772	1,595	375	14	6,208
10月	110	108	180	408	702	849	1,810	1,511	391	12	6,081
11月	64	85	153	365	717	779	1,745	1,509	391	9	5,817
12月	93	114	174	406	829	914	1,875	1,520	361	13	6,299
²⁰²⁴ 1月	64	91	135	350	642	832	1,641	1,368	347	9	5,479
2月	96	91	145	350	716	847	1,620	1,472	392	15	5,744
3月	101	104	143	368	739	900	1,607	1,411	388	9	5,770
合計	1,240	1,338	2,065	4,925	8,975	10,294	20,877	18,107	4,566	150	72,537
比率	1.7%	1.8%	2.8%	6.8%	12.4%	14.2%	28.8%	25.0%	6.3%	0.2%	100.0%

年間 年齢別外来延べ患者数

患者数(人)



(3) 外来患者各科別統計・紹介患者統計

2023年度 外来各科別月別集計（夜間救急患者を除く）：科別ファイル枚数

(単位：人)

	科別ファイル枚数										診療実日数			
	内科 ※1	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	リハビリ	緩和ケア	検査等 ※2	夕診	合計	1ヶ月 (営業日)	皮膚科	緩和 ケア	夕診
2023年 4月	2144	372	1774	124	448	297	7	366	0	5532	24	7	4	4
5月	2133	352	1811	120	472	372	14	362	5	5641	24	7	6	5
6月	2220	345	1744	176	467	395	13	382	4	5746	26	9	9	4
7月	2319	393	1778	165	471	406	14	398	3	5947	25	9	9	4
8月	2458	403	1770	139	482	408	17	328	3	6008	26	6	8	5
9月	2212	445	1739	141	481	352	17	338	3	5728	24	6	9	4
10月	2150	427	1663	159	478	353	18	358	10	5616	25	8	10	5
11月	2062	398	1561	122	492	296	19	396	2	5348	24	6	9	4
12月	2410	462	1719	145	512	279	17	326	4	5874	26	8	9	4
2024年 1月	2048	347	1491	81	438	240	17	311	1	4974	22	5	9	4
2月	2126	357	1638	106	458	246	10	324	1	5266	23	6	5	4
3月	2036	380	1654	174	509	309	15	314	2	5393	25	8	9	4
計	26318	4681	20342	1652	5708	3953	178	4203	38	67073	294日	85日	96日	51日
実日数	294	294	294	85	294	294	96	294	51	年間1日平均 外来患者数 228人				
1日平均	89.5	15.9	69.2	19.4	19.4	13.4	1.9	14.3	0.7					

※1 内科：神経内科、心療内科、糖尿病内科含む

※2 検査等：各診療科含む

2023年度 診療情報提供料取扱件数（他院への紹介）集計

(単位：件)

	月合計	紹介先別			目的別						疾患別				
		病院	診療所	その他	入院	転医	精査	手術	リハビリ	その他	内科	外科	整形外科	泌尿器科	その他
2023年 4月	89	82	7	0	2	13	5	1	0	68	3	1	13	9	63
5月	93	78	14	1	1	6	9	0	2	75	4	0	9	4	76
6月	97	75	22	0	2	15	6	1	1	72	5	0	12	2	78
7月	82	68	14	0	3	25	5	1	0	48	2	1	4	4	71
8月	75	67	7	1	2	3	7	1	1	61	4	0	6	3	62
9月	62	59	3	0	3	3	4	0	0	52	2	1	4	4	51
10月	53	50	3	0	0	6	2	0	0	45	0	0	5	2	46
11月	57	51	6	0	2	3	3	0	1	48	1	0	2	1	53
12月	63	60	2	1	2	9	4	1	1	46	0	0	5	2	56
2024年 1月	42	40	1	1	1	6	1	0	0	34	1	0	3	1	37
2月	56	47	8	1	1	10	2	2	1	40	1	1	8	2	44
3月	60	57	3	0	3	7	1	1	0	48	2	0	4	5	49
計	829	734	90	5	22	106	49	8	7	637	25	4	75	39	686
比率		88.5%	10.9%	0.6%	2.7%	12.8%	5.9%	1.0%	0.8%	76.8%	3.0%	0.5%	9.0%	4.7%	82.8%

2023年度 紹介元（他院より紹介された）集計

(単位：人)

	月合計	紹介元			地域別			診療科別						
		病院	診療所	その他	内科	外科	整形外科	内科	外科	整形外科	リハビリ	泌尿器科	緩和ケア	他
2023年 4月	170	81	79	10	129	10	31	49	14	90	2	4	10	1
5月	146	70	70	6	110	3	33	47	9	74	0	7	7	2
6月	158	76	70	12	121	11	26	50	16	73	0	10	8	1
7月	208	91	103	14	156	13	39	67	35	72	0	19	14	1
8月	206	88	106	12	150	21	35	67	34	80	1	18	6	0
9月	204	102	94	8	155	12	37	73	38	70	0	11	12	0
10月	175	77	89	9	133	13	29	72	28	48	0	18	9	0
11月	187	96	84	7	137	12	38	61	38	60	0	15	13	0
12月	159	66	78	15	123	11	25	50	27	67	0	7	7	1
2024年 1月	170	79	80	11	125	13	32	54	24	75	0	5	12	0
2月	166	84	74	8	102	18	46	54	18	79	1	4	9	1
3月	186	95	74	17	134	16	36	59	20	90	0	7	10	0
計	2135	1005	1001	129	1575	153	407	703	301	878	4	125	117	7
比率		47.1%	46.9%	6.0%	73.8%	7.2%	19.1%	32.9%	14.1%	41.1%	0.2%	5.9%	5.5%	0.3%

(4) 病棟別退院患者統計

2023年度 病棟別（年齢、地区、ICD-10分類）一覧

（単位：人）

《年齢別》

	3階	4階	5階	6階	7階	合計
19歳以下	-	29	-	-	-	29
20歳代	1	17	6	-	-	24
30歳代	-	27	4	-	-	31
40歳代	2	50	4	-	-	56
50歳代	6	74	25	4	13	122
60歳代	14	68	35	3	12	132
70歳代	63	151	102	25	53	394
80歳代	77	204	215	43	55	594
90歳代	17	102	125	26	7	277
100歳代	-	6	4	4	-	14
合計	180	728	520	105	140	1673

《地区別》

	3階	4階	5階	6階	7階	合計
六会	16	32	43	5	2	98
遠藤	12	20	13	4	-	53
御所見	-	10	5	2	-	17
鶴沼	19	57	43	14	10	143
湘南台	3	10	12	2	-	27
湘南大庭	13	89	45	8	7	162
善行	8	55	25	2	7	97
村岡	2	7	17	4	1	31
長後	1	6	8	6	1	22
辻堂	21	125	84	11	24	265
藤沢	17	33	41	8	8	107
片瀬	2	10	9	2	1	24
明治	24	156	82	12	23	297
茅ヶ崎市	26	57	62	18	26	189
その他	-	61	31	7	26	141
合計	180	728	520	105	140	1673

《ICD-10 大分類別》

ICD-10	3階	4階	5階	6階	7階	合計
I 感染症	1	16	12	2	1	32
II 新生物	2	74	31	10	137	254
III 血液	-	5	2	-	-	7
IV 内分泌	2	11	27	2	-	42
V 精神	-	-	8	-	-	8
VI 神経	-	12	10	7	-	29
VII 眼	-	-	-	-	-	0
VIII 耳	-	2	3	-	-	5
IX 循環器	55	17	47	19	-	138
X 呼吸器	-	24	68	16	-	108
XI 消化器	-	102	26	4	-	132
XII 皮膚	1	5	13	2	-	21
XIII 筋骨	37	63	121	6	-	227
XIV 腎尿路	-	30	36	17	1	84
XV 妊娠	-	-	-	-	-	0
XVI 周産期	-	-	-	-	-	0
XVII 先天性	-	4	-	-	-	4
XVIII 症状	-	-	1	-	-	1
XIX 損傷	80	357	77	14	1	529
XX 傷病	-	-	-	-	-	0
XXI 保健サービス	2	6	38	6	-	52
合計	180	728	520	105	140	1673

(6) 透析センター患者状況 (2023 年度)

- ・ 外来維持透析患者数 36 名 (男性 23 名 (63.9%) 女性 13 名 (36.1%))
- ・ 入院透析患者数 51 名 (男性 34 名 (66.6%) 女性 17 名 (33.4%))
- ・ 血液透析回数 6498 回 (血液濾過透析 314 回含む) 稼動 313 日
外来 4714 回 入院 1784 回
- ・ 転入患者 入院 41 名 (男性 27 名 女性 14 名)
外来 2 名 (男性 1 名 女性 1 名)
- ・ 転出患者 入院 23 名 (男性 16 名 女性 7 名)
外来 2 名 (男性 1 名 女性 1 名)

・ 主要原疾患

	男性	女性	合計	在籍患者に対する割合
慢性糸球体腎炎	7	5	12	13.8%
糖尿病性腎症	19	9	28	32.2%
腎硬化症	11	3	14	16.1%
多発性嚢胞腎	3	2	5	5.7%
その他	17	11	28	32.2%
合計 (名)	57	30	87	100%

・ 年齢区分

	男性	女性	合計	在籍患者に対する割合
40 歳～	3	0	3	3.5%
50 歳～	8	2	10	11.5%
60 歳～	4	3	7	8.0%
70 歳～	19	13	32	36.8%
80 歳～	20	9	29	33.3%
90 歳～	3	3	6	6.9%
合計	57	30	87	100%

平均年齢 (歳) : 75.5(全体)、77.8(入院)、72.4(外来)

最少年齢 : 48 歳 (男性、外来) 最高年齢 : 96 歳 (女性、外来)

・ 透析歴

	男性	女性	合計	在籍患者に対する割合
2 年未満	11	7	18	20.7%
2 年～	16	3	19	21.8%
5 年～	13	7	20	23.0%
10 年～	9	4	13	14.9%
15 年～	3	3	6	6.9%
20 年～	2	3	5	5.8%
25 年～	3	3	6	6.9%
合計	57	30	87	100%

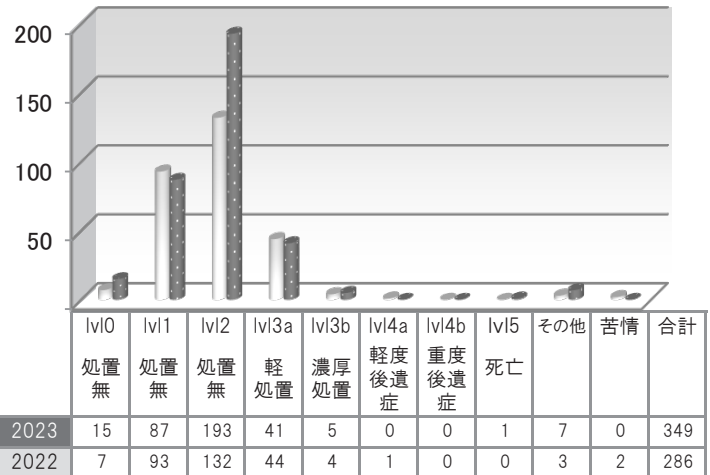
※ 最長透析歴 42 年 0 ヶ月 (女性・入院)

(7) 医療安全・インシデントアクシデントレポート分析

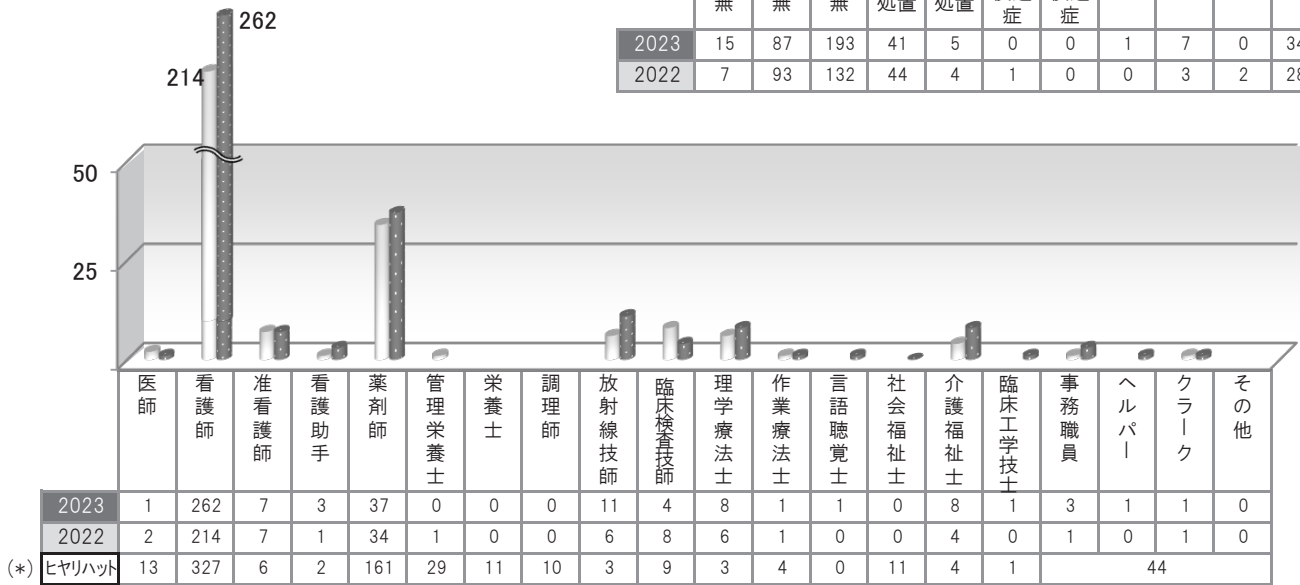
インシデントアクシデント レポート件数報告 2023年度

報告数は、昨年と比較すると245件増となり、それぞれの対策や取り組みを行い安全文化の醸成に繋がられた。
しかし今年度は重大事故の発生があった。
再発防止策を立て継続的な対策、教育を実践していきたい。

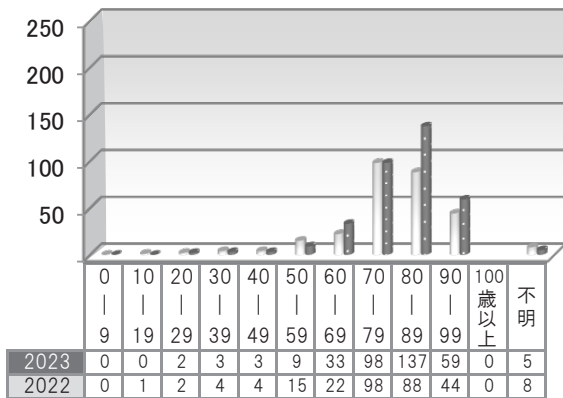
■年度・レベル別発生状況



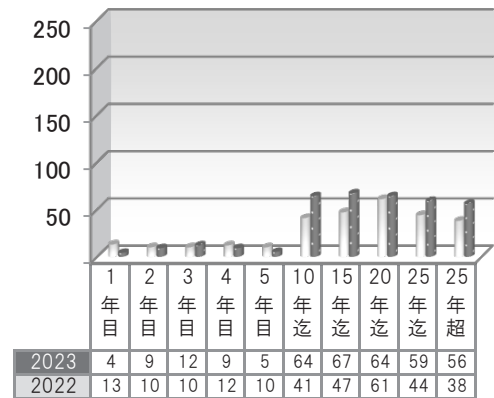
■職種別発生状況



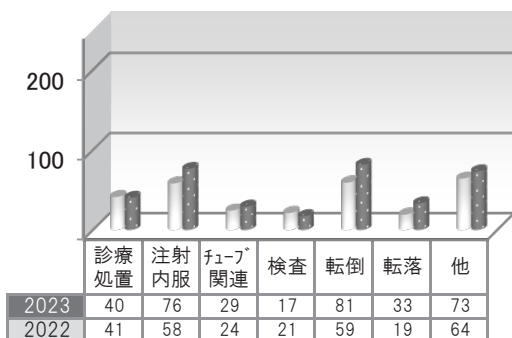
■患者年齢別発生状況



■職員経験年数別発生状況



■主な原因別発生状況



■ヒヤリハットレポート

	lv10	lv11	その他	合計
2023	473	130	35	638
2022	374	64	18	456

ヒヤリハット(簡易レポート)は2020年度より運用を開始しました
(*)職種別発生情報のヒヤリハット件数は最新年の件数です

※同一事故であっても報告件数で統計を行なっているため、複数カウントされることがあります。

(8) 施設基準届出一覧

2024.6.1 現在

◇基本診療料（入院料等基本的な診療行為の費用）

1. 急性期一般入院料 4（4 階病棟）
2. 急性期看護補助体制加算 25 対 1（4 階病棟）
3. 夜間 50 対 1 急性期看護補助体制加算（4 階病棟）
4. 療養病棟入院基本料 1・夜間看護加算（6 階病棟）
5. 回復期リハビリテーション病棟入院料 2（3 階病棟）
6. 緩和ケア病棟入院料 1（7 階病棟）
7. 地域包括ケア病棟入院料 1（5 階病棟）
8. 看護職員配置加算 50 対 1（5 階病棟）
9. 看護補助者配置加算 25 対 1（5 階病棟）
10. 診療録管理体制加算 3
11. 医師事務作業補助体制加算 2（100 対 1）
12. 療養環境加算
13. 療養病棟療養環境加算 1
14. 医療安全対策加算 2・医療安全対策地域連携加算 2
15. 感染対策向上加算 2（連携強化加算・サーベイランス強化加算）
16. 患者サポート体制充実加算
17. 入退院支援加算 1
18. データ提出加算 1
19. 後発医薬品使用体制加算 2（9 割使用）
20. 機能強化加算（外来初診時）
21. せん妄ハイリスク患者ケア加算
22. 医療DX推進体制整備加算

◇特掲診療料（個々の診療行為についての費用：管理、リハビリ、検査、手術、輸血料等）

1. 糖尿病合併症管理料
2. がん性疼痛緩和指導管理料
3. ニコチン依存症管理料
4. がん治療連携指導料
5. 薬剤管理指導料
6. 医療機器安全管理料 1
7. 在宅療養支援病院（連携強化型）
8. 在宅時医学総合管理料
9. 在宅がん医療総合診療料
10. 在宅患者訪問看護・指導料
11. 同一建物住居者訪問看護・指導料
12. 検体検査管理加算（I）
13. CT 撮影及び MRI 撮影（大腸 CT 撮影含む）
14. 無菌製剤処理料
15. 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）初期加算
16. 運動器リハビリテーション料（I）初期加算
17. 人工腎臓 導入期加算 I
18. 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
19. 下肢抹消動脈疾患指導管理加算
20. ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術
21. 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
22. 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術（胸腔鏡、腹腔鏡下手術等）
23. 胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術）
24. 輸血管理料 II（輸血適正使用加算）
25. 救急搬送看護体制加算
26. 二次性骨折予防継続管理料 1・2・3
27. 在宅医療情報連携加算
28. 外来・在宅ベースアップ評価料（I）
29. 入院ベースアップ評価料

(9) 提携医療機関

第三次医療機関

医療機関名
東海大学医学部附属病院
藤沢市民病院
神奈川県立がんセンター
湘南鎌倉総合病院
湘南藤沢徳洲会病院
北里大学病院
聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター
横浜市立大学附属 市民総合医療センター
神奈川県立こども医療センター

提携医療機関

専門	医療機関名
脳神経外科	藤沢脳神経外科病院
	藤沢市民病院
	はしもと脳神経外科クリニック
小児科	藤沢市民病院
	湘南藤沢徳洲会病院
産婦人科	吉田クリニック
	辻堂レディースクリニック
	湘南藤沢徳洲会病院
眼科	こうの眼科クリニック
	蓮沼眼科クリニック
耳鼻咽喉科	関根耳鼻咽喉科医院
	あいあい耳鼻咽喉科医院
歯科	元町歯科

5 診療部

診療部理念

湘南わかばグループの理念の実現のため、病院全体として実践するチーム医療の中心として地域の一人一人の患者さんに最善の医療を提供します。

目標

- ・ 患者さんの権利を尊重し、十分な医療情報を提供します。
- ・ すべての患者さんに公平に医療を提供します。
- ・ 安全な医療を提供するために組織的に取り組みます。
- ・ 予防からターミナルケアまで含んだ包括的な医療を地域のニーズに合わせて提供します。
- ・ 救急医療を充実し、地域の要請に応えます。
- ・ 一人一人の患者さんから学ぶと共に、医療における最新の知識の習得に努めます。
- ・ 次代を担う医師の人材育成をめざします。

(1) 診療部概要

診療部長 外科 松崎 博行

湘南中央病院診療部には現在 18 名の常勤医と、40 名前後の非常勤医が在籍しています。常勤医の科別の内訳は内科 6 名、整形外科 4 名、外科 3 名、リハビリテーション科 2 名、泌尿器科 1 名、緩和ケア科 1 名、在宅診療科 1 名となります。

外来診療科は内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、肛門外科、整形外科、泌尿器科、緩和ケア内科、心療内科、糖尿病内科、内分泌内科、精神科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科、腎臓内科（人工透析）、放射線科を標榜しています。内科に付随して糖尿病外来、外科に付随して肛門病外来、日帰り手術外来が設けられています。また毎週火曜日の 17 時から 19 時まで夕方診療（総合診療）を行っています。新型コロナウイルス感染症の蔓延を受けて設けた発熱外来も継続して行っています。

また 2024 年から健診部門を再開いたしました。

入院診療は 3 階回復期リハビリテーション病棟、4 階急性期病棟、5 階地域包括ケア病棟、6 階療養病棟、7 階緩和ケア病棟にて行っています。

救急部門は藤沢市の 2 次救急輪番病院、救命センター協力病院として藤沢市の救急医療では傷病者情報管理システムを導入し一翼を担っています。

(2) 各診療科紹介

外 科

当院外科は、現在3名で診療を行っております。

2023年4月から2024年3月まで、病院全体の外来患者数が減少したこともあり、当院外科手術件数は86件(麻酔科管理67件)と減少しています。腹腔鏡および胸腔鏡下手術が12件、悪性疾患は11件でした。

また、同期間の手術当日退院と翌日退院の日帰り手術(いわゆる same day surgery)は25件でした。件数は減少しましたが、手術に占める same day surgery の割合は増加しています。

手術の内容は消化器外科が大部分を占めますが、乳腺、甲状腺、呼吸器や体表面の腫瘍など広く外科手術一般を施行しております。

また、当科では外来診療の待ち時間短縮および診療内容の充実を目的に予約診療を行っており、患者さんにはおおむね好評をいただいております。もちろん急患は随時診療を行っております。

加えて、病院ホームページに掲載しております日帰り手術を含めた短期入院手術や内痔核に対するPPH法といった特別な治療を希望され当院を選んで受診される患者さんも来院されています。

当院外科では手術だけでなく、内視鏡診断、内視鏡治療、抗癌剤治療、在宅医療や緩和医療の一部も院内、院外を問わずに連携して診療を行っております。それはつまり、診断から治療、その後まで一つの病院で完結することのできる体制であるということで、私たち一般市中病院の大切な役目だと考えております。

院内での感染防御の対応も考慮すると感染による影響はまだまだ続くと思いますが、一般市中病院の外科としての機能と、高い専門性を持った治療とのバランスを取った湘南中央病院外科らしい診療を行い、選んで受診してもらえらる病院を目指していきたいと考えています。

(外科部長 松崎 博行)

整形外科

1. 概要

整形外科では運動器の外傷および疾患を取り扱います。その対象は、整形外科一般外傷の骨折、骨粗鬆症を有する高齢者の大腿骨頸部骨折・転子部骨折、脊椎圧迫骨折、退行変性疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍などです。高齢化社会に伴い骨粗鬆症による骨折も増加傾向であるため、骨折予防の観点から骨密度検査を含めた骨粗鬆症の検査を行い、適切な治療を選択します。地域に密着した医療を提供するとともに、藤沢市医師会の整形外科医会と密に連携を取り紹介患者を受け入れます。また、外科系二次救急を含めた救急患者を受け入れます。

専門領域別では、手外科、脊椎外科、膝・股関節外科などが主な対象疾患となります。整形外科全般の疾患に対する診断・治療を行いますが、個々のスタッフの専門性を尊重して質の高い診療の提供に努めます。当院では入院・手術およびリハビリを積極的に取り組んでいます。入院では、疾患・外傷の種類とその治療内容に応じて一般急性期病棟(4階病棟)および地域包括ケア病棟(5階病棟)への受け入れを行い、さらに回復期リハ病棟(3階病棟)への転入が可能です。近隣の病院からも術後のリハビリの継続や安静加療目的の転院を受け入れます。

2. スタッフ構成

2023年度の整形外科は常勤医師4名、非常勤医師は5名の体制となりました。

常勤医師 今井重信（会長・顧問）、池田全良（院長）、宇都秀鈴（整形外科部長）、立岩孝明

非常勤医師 山本至宏、中島大輔、横山美由希、岸達也、隅山香織

（この内、立岩孝明、宇都秀鈴は東海大学からの出向医師です。また、中島大輔、岸達也、隅山香織は東海大学からの派遣医師です。）

3. 活動内容

当院整形外科は日本整形外科学会専門医の研修施設基準を満たしており、東海大学を基幹施設とした臨床研修プログラムにおける関連施設であります。1名は日本手外科学会認定手外科専門医であり日本手外科学会専門医研修施設でもあります。そのため、整形外科専門医を有する整形外科医は手外科専門医を取得するための研修も当院で可能です。

臨床実績では、2023年度の整形外科外来患者数は1日平均73人であり、1日あたりの入院患者数は、一般急性期病棟（4階病棟）で平均28人、地域包括ケア病棟（5階病棟）で平均8人でした。手術症例数は539件でした。年間を通して重大な医療事故はありませんでした。

外来患者の内訳は、主として地域の患者様、救急、藤沢市医師会整形外科医会をはじめとした藤沢市、茅ヶ崎市周辺の医療機関からの紹介患者様、東海大学関連の紹介患者様でした。

入院患者は、疾患の治療目的に応じて一般急性期病棟と地域包括ケア病棟へ入院病床の割り振りが可能です。手術や急性期疾病の治療を目的とした短期入院の場合は一般急性期病棟での入院となります。また、一般急性期病棟での治療後に在宅に向けたリハビリを継続する場合や、療養リハビリが必要な場合、他の医療機関で急性期治療を行ったのちの在宅復帰に向けた入院継続、および比較的長期にわたる保存的治療が目的の場合は地域包括ケア病棟への入院になります。

診療内容は、運動器疾患と外傷に対する診療が中心でした。一般的な運動器外傷に対する手術療法に加えて、高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折（圧迫骨折）および大腿骨近位部骨折、上肢の外傷と疾患（退行性関節疾患・腫瘍など）に対する手術、膝および股関節の人工関節手術、脊椎外科です。高齢者の運動器の外傷においては、骨粗鬆症の評価・治療とともにその治療をすすめてきました。大腿骨近位部骨折に対しては、早期の手術を計画し術後のリハビリに取り組めるように努力しています。大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術や骨接合術、大腿骨転子部骨折に対する骨接合術を行っており、大腿骨近位部骨折に対する2023年度の手術件数は120件でした。骨粗鬆症性椎体骨折（圧迫骨折）に対する経皮的椎体形成術（BKPまたはVBS）施行件数は26件ありました。手術は脊椎・脊髄病学会認定指導医が施行しました。人工関節手術件数は股関節（THA）2件、膝関節（TKA）8件でした。

当院の特徴でもある手外科では、骨折、腱・靭帯損傷、骨軟部腫瘍、人工関節と幅広い疾患、外傷の手術を行っています。その多くの症例は他施設からの紹介であり、近隣のクリニックをはじめとする諸先生方に感謝申し上げます。

骨折の手術後には、骨粗鬆症に対する治療や超音波骨折治療にも積極的に取り組んでいます。また、東海大学整形外科からの手術支援活動は数回あり、腱板損傷をはじめとする肩関節疾患に対する鏡視下修復術などでした。今後も引き続き安全で質の高い治療と手術を行う所存です。

今後、当院の整形外科は急性期に加えて近隣の急性期病院からの後方支援としても地域医療の一翼を担い、信頼される医療を皆さんに提供してまいります。

（整形外科部長 宇都 秀鈴）

泌尿器科

泌尿器科は腎臓から尿管・膀胱と、男性の前立腺・精巣の腫瘍や炎症性疾患などを治療しています。

2010年より始まった藤沢市のPSA健診に協力し、検査・治療を行っています。

また、院内の他の診療科、近隣の病院・診療所と連携し、患者さんの治療に当たっています。

今後、高齢化に伴い排尿障害を併発する患者さんの数が増えると予想されますので、病棟や外来で果たす役割も重くなっていくものと考えています。

(泌尿器科医長 多田 真浩)

リハビリテーション科

36床の回復期リハビリテーション病棟では、急性発症した脳血管障害・運動器疾患（骨折、整形外科での手術後、脊髄損傷、義肢が必要な四肢切断など）・肺炎や大きな手術後の廃用症候群などの患者さんの入院リハビリテーションが可能です。療法士（理学療法・作業療法・言語聴覚）と看護師と介護福祉士とMSWと日々連携して、チーム医療を構築しています。その中で、日々慎重なりハビリテーションを進めています。患者さん方の高齢化・重症化、疾患や既往症の多様化は目立ちます。それらを個々に対応しています。合併症対応も適宜行ない、必要時に当院の他科や紹介医等とも相談して診療しています。新型コロナウイルスに対して、適切に感染予防や発症時の隔離・治療・拡大予防策を行っています。

現在は、常勤医師が2人体制となっています（馬淵、田中）。

専門外来では、リハビリテーション全般や在宅障害者の後遺障害などの診療が可能です（担当は2023年度まで田中、2024年度は馬淵）。

主な対象疾患

- 脳血管障害（脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血）、脳出血性疾患後の水頭症（髄液シャント術後）
- 骨関節疾患（大腿骨頸部骨折・腰椎などの骨折、変形性関節症、変形性脊椎症、脊椎脊髄疾患、脊椎脊髄疾患などの術後、四肢切断術後の義足作成）
- 肺炎や開胸・開腹術後（心大動脈疾患・消化管）・整形疾患などの廃用症候群
- 高次脳機能障害、失語症、摂食・嚥下障害

特色

- 在宅生活や社会復帰を可能にしていくことが主な目的となります。
地域の老人保健施設・訪問看護ステーション・訪問リハビリステーション・地域包括支援センターとの連携にも取り組んでいます。
- リハビリテーション治療が終了したのち、患者さんの内科的合併症などの継続的治療は、主に地域かかりつけ医または元の急性期病院へ紹介しお願いしています。
- 資格は、馬淵一樹（日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション学会専門医）、田中洋（日本脳神経外科学会専門医、日本リハビリテーション学会専門医）です。

(リハビリテーション科医長 馬淵 一樹)

皮膚科

<医 師>

東海大学から非常勤 2 名

<診 察>

外来は月曜・金曜の午後、また入院（病棟）も診察しております。

内 科

1. はじめに

2023 年も新型コロナウイルス感染症の断続的な流行は続いており、発熱外来は午前中のみの予約枠と縮小はしながらも、対応が必要な状態が続いていました。

救急で受診した患者がコロナ感染している症例も少なくないため、対応可能な病床がなく、転院搬送となる事例も生じていました。

2. 医師体制

2023 年度内科常勤医師は、村川、新城、岡、小川、永淵、望月の 6 名でした。4 階急性期病棟、5 階包括ケア病棟以外に、6 階療養病棟を村川が、透析室を新城、永淵が担当しています。

非常勤医師として岡田、奥脇が一般内科外来を、三吉（心療内科）、酒井（糖尿病）、松川（神経内科）がそれぞれの専門外来を担当しています。

3. 新型コロナウイルス感染症

1 年を通して発熱外来を維持し、3300 名余りの発熱患者に対応しました。前年度からは -1000 名程の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症が軽症化したこともあり、院内でのクラスター、他の疾患で入院した新型コロナ陽性患者について、各病棟で対応していました。

また新型コロナ急性期治療後の療養・リハビリ目的の下り搬送は前年よりもかなり減少しました。

4. 外来・病棟

2023 年度内科外来は発熱外来を含めて月平均 2473 名、昨年度比+ 4.3%でした。

4 階急性期病棟、5 階包括ケア病棟、6 階療養病棟の年間病床利用率は、それぞれ 80.9%、86.5%、86.8%とやや上回りました。

地域包括ケア病棟の入院相談件数は 555 件で、内科は 429 件でした。

5. 今後の課題

消化器疾患の診療が手薄のため消化器内科医の確保、透析設備を有する病院のため腎臓内科医の確保が優先課題と考えています。

(内科部長 永淵 成夫)

緩和ケア内科

最近は数年前と比べて緩和ケアの理解がかなり進んできたと思います。少し前までは緩和ケア病棟は死ぬ場所、最期の場所と考えられ十分理解されずに嫌われることもありましたが、しかし今はどういう場所か理解したうえで来ないと判断される方もいます。

入院しない患者さんはどこへ行くのでしょうか？緩和ケアは緩和ケア病棟だけで受けられるのではなく一般病棟、外来、在宅、施設などいろいろな場所で受ける事が出来るようになってきました。患者さん家族の希望した場所や患者さんの病状、家庭環境などによって一番合った場所で受けられるようになってきたのです。

また最期に受ける医療ではなく癌の治療中から受けることも出来る病院も増えてきました。緩和ケアチームがある病院では治療中の患者さんの所にチームが出向き身体症状や精神症状、スピリチュアルに対応してくれています。しかし十分な対応が出来る病院は残念ながら少数派です。人材やコストの問題で緩和ケアチームがなかったり、あっても機能していない病院が多いのが現実です。しかし大きい流れとしては治療中からでも緩和ケアを受けられるようになってきていると思います。

このような流れは緩和ケアの定義からすれば当たり前の状況にやっとなってきたのだと思います。2002年にWHO（世界保健機構）が示した定義『生命を脅かす疾患に伴う問題に直面する患者と家族に対し、疼痛や身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期から正確にアセスメントし解決することにより、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質（QOL）を向上させるためのアプローチである。』と定義しているからです。

ここでは早期からと規定されておりまた場所の指定はないのです。とにかく患者、家族が早期から緩和ケアをうけて病気からくる苦しみを少しでも解放することが求められています。

私たち湘南中央病院では緩和ケア病棟だけでなく一般病棟、外来、在宅でも緩和ケアが受けられるように体制を整えたり、近隣の在宅医師や施設と連携したり当院の在宅診療科や訪問看護とも連携していますが、早期からの対応はまだ十分な状態ではありません。

今後さらに体制を整えていかなければならないと考えています。しかし2020年から全世界的に問題となっているコロナウイルス感染の拡大による全国的な病棟逼迫のため当院も協力しなければならず、2021年2月より当院緩和ケア病棟をコロナ関連病棟へ変更しコロナの治療後在宅に戻れない患者や疑い患者の入院をする病棟として活動してきました。

ここへきて病院の協力により2022年4月よりやっと緩和ケア病棟に戻すことが出来ていますが、まだ13床でしか再稼働が出来ていません。まだ患者や家族のニーズに十分お応え出来ないのですが、今後スタッフが充足されれば元の16床で稼働でき、より多くの患者を診療し患者や家族のニーズにお応えできると考えています。

コロナ感染状況が落ち着かないと面会が自由にでき開かれた緩和ケア病棟にすることは出来ないと思いますが、出来ることから少しずつコロナ前より素晴らしい緩和ケア病棟にし、少しでも癌からくる苦しみから多くの患者を解放できるようにしたいと考えています。

（緩和ケア内科医長 片町 守男）

在宅診療科

在宅診療科は、通院困難な患者さんへの定期的な訪問診療を行い、担当する医療・介護スタッフ（訪問看護、訪問薬局、訪問歯科、ケアマネジャー、他）と連携して、自宅や施設で安心して療養を続けられるようサポート致します。契約している患者さんに対しては、365日×24時間の緊急連絡を受ける体制を整えており、要請があれば往診に伺います。入院が必要と判断した場合には、当院にて対応、もしくは他の医療機関へ紹介します。

当院だけでは対応が難しい眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・婦人科・精神科・放射線治療科などは、連携先医療機関と協働して診療にあたります。

<スタッフ>

医師は常勤3名（専任1名、外科兼任1名、緩和ケア科兼任1名）、非常勤3名
看護師3名、医療事務2名

<特色>

院内の緩和ケア外来や緩和ケア病棟との連携を強みに、がん末期の患者さん宅への訪問診療を積極的にお引き受けしています（在宅緩和ケア充実病院加算を算定しています）。

他にも認知症や脳梗塞後遺症、心不全や慢性呼吸不全、整形外科的疾患など、がん以外の病気で通院が難しい方も対象にしていますので、訪問診療が必要な場合は御相談下さい。

<2023年度の診療実績>

- ・利用者数 93人前後/月
そのうち、がん末期の症例 24人前後/月
- ・新規訪問 97名/年（がん52人、非がん45人）
- ・相談数 148名/年（がん84名、非がん64名、51名は新規訪問につながらず）
- ・在宅看取り 46件/年（がん29人、非がん17人 自宅40人、施設6人）
- ・病院看取り 19名/年
- ・緊急往診 59件/年
- ・オピオイド系鎮痛薬の患者自己注射を指導・実施した実績 21人/年

（在宅診療科医長 福崎 幸治）

6 看護部

看護部理念

湘南わかばグループの理念にそって地域住民の健康レベルに合わせ、心あたたかな全人的看護・介護を提供します

看護部方針

1. 私たちは湘南わかばグループの一員として、他職種の職員や他機関の人びととチームをくみ、地域住民のニーズにそった安全で質の高い看護・介護を提供します。
2. 私たちは患者・利用者とともにあゆみ、よりよい人間関係のなかで人びとの健康レベルに応じた全人的ケアを提供します。
3. 私たちはあたたかで謙虚な心をもって看護・介護を実践し、患者・利用者の尊厳と権利を尊重します。
4. 私たちは専門職業人として自己啓発・相互啓発に努め、活力に満ちた職場文化を創ります。

(1) 看護部報告

副院長 看護部長 春日 慶子

< 2023 年度看護部目標・評価 >

1. 各部署収益向上への貢献

コロナ禍を経て通常運営となり、外来患者数や病床稼働率の上昇を目指しましたが、未達となりました。取得している施設基準を維持するべく各部署が協働し奮闘した1年でした。病院の面会制限が続くなか、各病棟の特性に合わせながらの運営となりました。クラスターは1回発生しましたが、初期対応で拡大せず経過しました。

2. 安心・安全で信頼されるケアの提供、患者の重症化予防

医療安全の小委員会の一つである「確認チーム」による活動を契機として、多重確認の見直しが進められています。効果の有無について再考する機会になっています。意思決定支援の周知には課題が残ります。外来の入院支援は薬剤師の介入やOP室の術前の関りなどが始まり徐々に拡大しています。主任会は身体抑制の指針（マニュアル）を完成しP.P.作成にも尽力しました。

3. 勤務環境の整備を図る

コロナの家庭内感染による出勤停止のスタッフは各部署で発生したものの前年より減少しています。リリーフ体制を継続しました。看護職・介護職の人材確保は喫緊の課題です。昨年より退職率は減じています。訪問・在宅医療の需要は多く24時間体制維持のためにはやはり人材確保も大切ですが、スタッフの健康も考え、体制の再考も必要と考えます。

4. 看護要員の臨地実践能力向上に向けた活動と支援

学研e-ラーニングも浸透しつつ、全職員研修に活用されています。受講時間の確保は課題ですが看護職や看護補助者の教育指導にも有効活用しています。外部講師を招いて新人看護師の研修会も開催されており、新たな知見を得る場となっています。

看護部職員数（休職者除く）

	常勤	常勤②	非常勤	計
看護師	98	19	9	126
准看護師	4	1	0	5
介護福祉士	15	2	1	18
ヘルパー	10	4	10	24
クラーク（他）	2	4	15	21
	129	30	35	194

≪平均年齢≫

看護師	42.75
准看護師	52.20
介護福祉士	47.72
ヘルパー	47.75
クラーク・事務	55.47
中間管理職	49.56

≪平均勤続年数≫

看護師	7.49
准看護師	13.60
介護福祉士	7.61
ヘルパー	5.95
クラーク・事務	10.23
中間管理職	17.43

2024年3月31日現在

(2) 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度（2023 年度）

【看護必要度】

入院患者に提供されるべき看護の必要量評価票を用いて測定し、基準を満たす患者を入院させていることが条件である

「得点」

- ・ A 項目：モニタリング及び処置等に係る項目
- ・ B 項目：患者の状況等に係る項目
- ・ C 項目：手術等の医学的状況に係る項目
- ・ 日常生活機能評価（回復期リハビリテーション病棟のみ）

必要度集計

	回復期リハビリテーション病棟	急性期病棟	地域包括ケア病棟
	日常生活機能評価 10 点以上の患者数が 40%以上	A 項目 2 点以上かつ B 項目 3 点以上、または A 項目が 3 点以上、または C 項目 1 点以上の患者数が 18%以上	A 項目が 1 点以上、または C 項目が 1 点以上の患者数が 12%以上
4 月	40.0%	35.4%	25.3%
5 月	52.0%	31.1%	22.7%
6 月	43.0%	33.4%	20.3%
7 月	43.0%	24.4%	19.2%
8 月	50.0%	23.4%	22.2%
9 月	36.0%	31.2%	22.9%
10 月	41.0%	26.3%	17.0%
11 月	50.0%	24.6%	14.3%
12 月	42.0%	34.6%	20.3%
1 月	44.0%	28.0%	28.3%
2 月	42.0%	29.2%	25.1%
3 月	41.0%	31.4%	16.1%

(3) 3階 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管障害や骨折などのため急性期で治療を受け病状が安定し始めた状態で集中的なりハビリテーションを行う場所です。患者さんに対して、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭へ復帰を目的とした病棟です。患者さん一人一人に対し、リハビリテーションプログラムに基づき、医師・看護師・介護職・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士などの多職種が協働しながら集中的なりハビリテーションを提供し退院支援を進めております。

【2023年度実績】

相談受け付け総数は661件で前年度比較(2022年度806件)より-18%減少となりました。疾患別にみると脳血管疾患38.4%、頭部外傷2.3%で、脳血管疾患上位には脳梗塞があり、次いで脳出血が多くみられていました。昨今の状況は、高度な嚥下障害により経鼻栄養から胃瘻造設の経過を辿る症例も増えています。運動器疾患は53.1%であり、大腿骨骨折手術後患者が半数以上でした。また、廃用症候群の相談件数は2022年度4.9%から2023年度4.7%と著変はなく、入院受け入れは2022年度0件に対し、今年度は8件でした。年間の入院割合は187件、上位に運動器疾患110名58.8%、次いで脳血管疾患69名36.9%で廃用症候群は8名4.3%でした。退院は182件中、脳血管疾患67名36.8%、運動器疾患86名47.2%、廃用症候群6名3.3%でした。在院日数は脳血管障害が76.3日(2022年度実績64日)と延長傾向にあり、運動器疾患は54.4日(2022年度実績54.7日)と著変はありません。廃用症候群は年間平均59.8日でした。退院先は、自宅79.6%、老人保健施設6.53%、特定施設(有料老人ホーム)5.5%、急性増悪による転院・転棟が4.22%、自宅及び施設への退院困難者(転棟及び転院)は3.69%で推移していました。

【施設基準】 回復期リハビリテーション病棟入院料2算定
脳血管疾患などリハビリテーション料(Ⅰ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

【職員構成】 専任医師2名 看護課長1名 看護主任1名 看護師14.2名
理学療法士6.8名 作業療法士7名 言語聴覚士2名 ソーシャルワーカー2名
介護福祉士6名 クラーク2名

(4) 4階 急性期病棟

急性期病棟は、主に外科・内科・泌尿器科・整形外科疾患で化学療法等の専門的治療や検査、手術などに伴う治療が必要な患者さんの入院加療を行なっています。患者さんの病状の早期回復に向けて、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師・栄養士等他職種の職員が連携し、適切な医療・看護・介護の提供に努めています。在院日数は年々短縮傾向であり、2023年度は18日でした。限られた入院期間のなかでも入院時より、患者さんの退院後の生活を考えた入院生活を送れるようお手伝いさせていただきます。治療の経過を観察しながら、当院の病床機能を活かし、急性期の治療を終えた患者さんは回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟等個々の状態にあわせた病棟に転棟し、適切な病棟での治療・リハビリテーションの継続や退院後の生活を見据えた退院調整の継続を実践することを目指しています。

急性期病棟の課題は、入院要請を断らずに全て受け入れできるよう、ベットコントロールを行なうことです。予定入院と緊急入院のバランスを考えながら、日々調整しています。また、施設基準を維持していくには「重症度、医療・看護必要度」の維持も重要です。2023年度は平均29.4%でした。

入院から退院まで他職種のスタッフと連携し、定期的なカンファレンスでの情報交換を行い、患者さんの状態や希望にあわせた看護サービスを目指して日々取り組んでいます。「働き続けられる職場を作る」ために職員の労働環境を整えることは通年の課題です。保清や入院受け入れ担当等、機能別業務を導入し残務の削減に努めました。

人員配置や業務配分・内容を見直し、定時退勤の実現にむけ継続して取り組んでいきます。

また、急性期看護の実践には自己研鑽が必要です。研修の参加を含めた知識・技術の習得に個人・病棟全体で取り組んでいます。

(5) 5階 地域包括ケア病棟

52床の地域包括ケア病棟です。特定の疾患や診療科、病状に限定されることなく入院が可能です。在宅療養中や施設からの入院、他の医療機関または当院急性期病棟での治療後、病状は安定したものの在宅復帰に不安のある方などの受け入れをしています。入院期間は最長で60日間です。

入院時より退院まで患者さん一人ひとりに担当看護師がつきます。また病棟には専従の理学療法士や専任の医療ソーシャルワーカーがいます。医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士や地域のケアマネジャーなど多職種と連携を図り、「患者さんやご家族がどのような生活を望まれているのか」「退院後の生活をどのようにイメージしているか」等を話し合いながら在宅復帰を目指して退院支援しています。

今年度は面会制限が緩和され、面会時間や人数の制限がある中でも、患者さんと面会者が直接会える機会が増えました。患者さんが安心して療養生活を送ることができ、退院支援もスムーズに出来ました。在宅復帰率（直近6カ月平均）79.3%、平均在院日数30日、病床利用率は86.8%でした。

(6) 6階 療養病棟

療養病棟は43床の慢性期医療を支える病棟です。急性期の治療終了後も継続的な医療処置を必要とする患者さんが多く入院されています。その内容は気管切開や酸素吸入・痰の吸引・傷の処置・人工透析やインスリン注射など、多岐にわたります。そのために入院期間が長期に及ぶ患者さんも少なくありません。日常生活の援助や健康管理を行いながら身体機能の維持に努め、穏やかに過ごしていただけるよう、看護・介護職員が関わっています。

超高齢・多死の時代に入り、人生最期を過ごす場所として入院される患者さんも増えています。患者さんの尊厳を保ちながら、御家族の方と一緒に、穏やかで安らかな最期の時間を過ごすことができるように援助させていただきます。

病状が安定し、酸素吸入や痰の吸引などの医療処置が不要となった患者さんには、専任スタッフが退院後の生活のために介護保険サービスの調整や施設の選択など、患者さんにあった生活をしていただくためのお手伝いもさせていただいています。

また療養病棟では、在宅療養をしている地域の方たちの短期入院（ショートステイ）の受け入れを積極的に行っています。訪問看護ステーションや在宅診療科と連携し、介護されている御家族の支えとなり、住み慣れた家での生活が長く続けられるようにお手伝いをさせていただきます。

(7) 7階 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟とは、抗がん剤などのがんに対する積極的な治療は行わず、がんによって生じる身体や心のつらい症状に対しての治療やケアを専門的におこなう病棟です。

2022年4月に緩和ケア病棟を再開し、2年が経過しました。少しずつ病床数を増やし、2024年7月時点においては、13床での稼働中です。

症状緩和が図れることで、患者さん・ご家族がどのような生活をのぞまれているのか等を入院中から話し合いながら、在宅や施設への退院支援の介入件数も年々増加傾向にあります。

今のスタッフでできる最善のケアをみんなで模索しながら、患者さん・ご家族が「湘南中央病院の緩和ケア病棟で本当に良かった」と思っていただけのような病棟を目指していきたいと思えます。

(8) 外 来

健康に不安を抱え来院される患者さんと最初にお会いする私たち外来スタッフは、いつも笑顔のある暖かい外来看護を目指しています。同時に患者さんの身近な相談者や援助者として信頼していただけるよう自己研鑽に努めています。外来で行われる治療や検査、あるいは入院・手術の準備等々、様々な場面において、常に患者さんの立場に立ち、時には「その方にとって一番良い方法は何か」を患者さんと一緒に考え、その思いに添いながら行動できるようにしていきたいと考えています。

患者・家族に信頼される外来
患者さん・家族の立場に立って考える



職員が信頼し合える職場
職員間のコミュニケーションが良く働きやすい職場

(9) 手術・中央材料室

当院では整形外科、外科、泌尿器科の手術を行っています。2023年度は658件の手術が行われました。緊急手術はもちろん、整形外科の急ぎの手術等にも随時対応しています。特に整形外科の手術で使用される器械は種類も多く、日々新しいものが開発され進化しています。手術室スタッフはその進化に対応し、患者さんに安全な手術を提供できるよう自己研鑽に努めております。

また、不安と緊張のなか入室される患者さんの負担を最小限に留めた安全な手術を行うため、医師、麻酔科医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、手術・中央材料室スタッフでチームを組み協同しています。手術開始時のタイムアウトや術前術後訪問はその具体化です。術前訪問では手術や麻酔に対する不安を傾聴し、対策などを一緒に考えます。術後訪問では手術中の麻酔やポジショニングの影響はないかなど回復過程を共有、支援しています。手術後の患者さんのほっと安堵されたお顔を拝見できることは何よりの喜びです。

日々進歩する医療に合わせ、医療安全・感染対策に配慮し、患者さんの治療のサポートをいたします。

(10) 透析センター

当センターでは、通院患者さん、入院患者さんに対して、安全で安心な透析療法を行っています。

透析患者さんの高齢化に伴い、臥床したまま体重が測定できるスケールベッドを2台増やし、合計5台としました。そのため、車椅子への乗車が困難になった患者さんの受け入れもスムーズとなりました。

今年度は、『透析患者の確保と維持』『人材育成』『専門知識の習得』などを目標にあげました。『透析患者の確保と維持』については、目標である透析件数年間7200件を達成できませんでした。外来患者数は横ばい、入院患者数は増加していますが、透析回数へは繋がりませんでした。転入希望の患者さんの受け入れは、タイムリーに対応できました。『人材育成』では、2名の入職者があり、チェックリストを活用しながら順調に業務を習得し独り立ちができました。スタッフ、患者さんとのコミュニケーションも良好です。『専門知識の取得』については、個人のスキルアップに合わせた研修等に参加することを目標にしました。個人で研修参加できたのは1名、部署としては3つの研修参加に留まりました。

引き続き、感染防止に努め、快適な透析センターを目指します。また、他職種での連携を強化し、チーム一丸となって透析患者さんの治療をサポートをしていきたいと思っています。

(11) ボランティア室

2006年4月の緩和ケア病棟開設とともに病院ボランティアの活動が始まりました。病院ボランティアは患者と家族に寄り添いながら、ゆとり・潤い・やすらぎを届けるという役割を持って活動しています。病棟や外来で直接患者さんと接するボランティアと、縫物・生け花・写真の展示・車椅子の保守点検・庭の手入れなどの「特技ボランティア」と多岐に渡って活動しています。

2024年3月31日現在の登録人数は30名ほど、また10グループを超える演奏ボランティアの登録があり、緩和ケア病棟で開催されるピアノ、バイオリン等のミニコンサートは季節を感じる大切なイベントとなっています。

また、緩和ケア病棟ではティータイムや歌の会といった催しがあり、患者さんのご家族にとってはどちらも午後のひと時を穏やかに過ごしていただく時間となっています。

新型コロナウイルスの影響で2020年2月より院内のボランティア活動は休止となっていますが、ひな祭りやクリスマスなど季節の飾り付けはスタッフが継続して行っています。

又、昨年の12月には4年ぶりにクリスマスのイベントを開催し、クリスマスカードは在宅のボランティアさんが作成してくださり配布、当日はスタッフのハンドベルとボランティアさんによるピアノ演奏で患者・家族にとっても喜んでいただけました。

今後どのように活動を再開しボランティアを継続していけるか勘案しています。

(12) 看護部教育担当

看護部教育担当は、以下を職務としています。

1. 看護部教育委員会および病院教育委員会主催の継続教育プログラムの企画・運営・評価
2. 看護研究活動のサポート
3. 看護師養成施設臨地実習受け入れと調整
4. 人材確保対策と定着支援
5. 看護基準書・手順書の監査・改訂
6. 感染制御チーム活動

I. 職員研修の企画・運営・評価

看護部以外の職員、委託業者についても安全・感染・倫理・接遇研修を資格や職務内容に合わせて研修を行っています。研修は職員が受講しやすいように動画視聴が主になりつつありますが、実践的なトレーニングが必要な救命救急や接遇などは講義形式を複数回開催にして行っています。動画講義に関しては、全研修の受講率は90%以上です。

また、最新の情報や知見を取り入れられるように医療従事者向けe-ラーニングを契約して、職員全体研修や新採用者のオリエンテーション、新人看護師研修などに活用しています。

II. 看護職員の学習支援：クリニカルラダー改訂

当院のクリニカルラダーが標準的な看護実践能力の評価となるように、日本看護協会作成の看護師のクリニカルラダーや看護職の生涯学習ガイドラインなどを参考に全面改訂を開始しました。当院の看護師の標準的な看護実践能力の質の担保と個人の学習支援となるべく丁寧に見直しをしています。

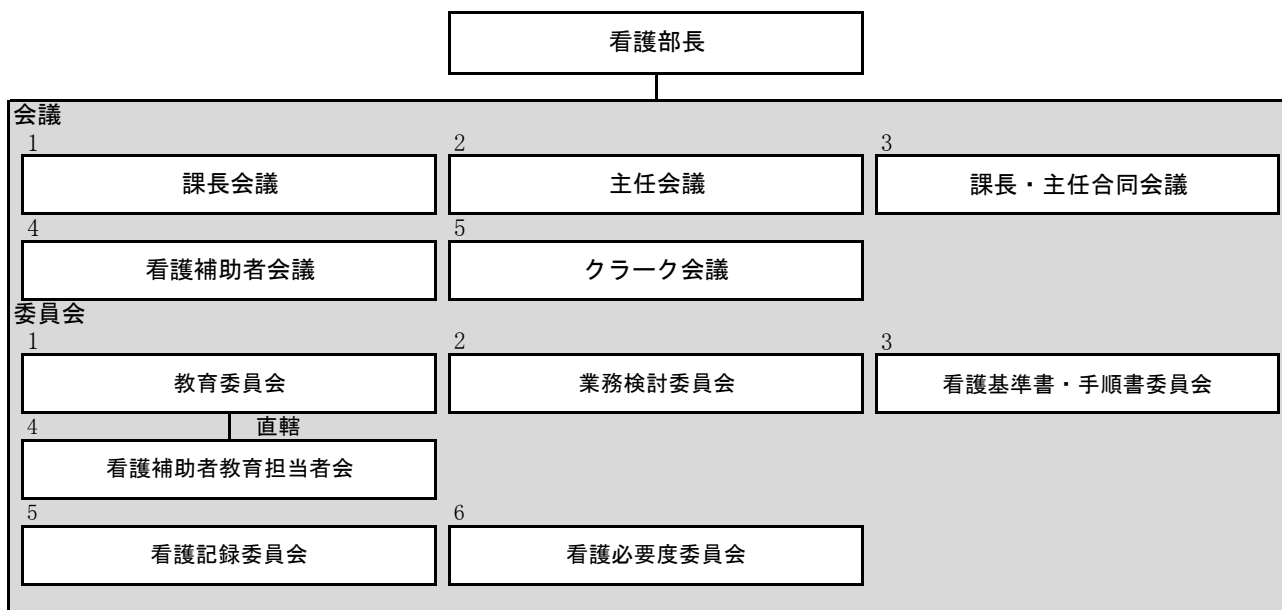
III. 感染制御チーム活動

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、近隣施設の感染対策や新たな知見を基に院内感染対策の再構築を行いました。

感染対策地域医療連携病院と感染状況や感染対策に関する定期的な情報交換や感染認定看護師に院内ラウンドをして助言を受けるなどしています。

感染性廃棄物の処理について法律を遵守し、感染リスクに配慮しながら、適切な分別となるように見直しを行いました。結果、感染性廃棄物の50%減量に至りました。

(13) 看護部主催会議・委員会



<看護研究発表会>

2023年度は中止

新人看護師研修

<総合オリエンテーション>

月日	内容	担当者
4/3	法人・病院の方針	理事長
	人事考課制度	人事課課長
	地域・ボランティア活動について	副院長兼看護部長 ボランティアコーディネーター
	防災について	外来課長
	職員の倫理綱領について	教育担当課長
	院内教育について	教育担当課長
	看護部オリエンテーション	副院長兼看護部長
	感染管理※	教育担当課長
医療安全※	医療安全管理者兼副部長	

※年度途中の入職者で、オリエンテーションを受けていない職員の参加あり

(14) 湘南わかばグループ・看護部 その他の実績

1. 院外の役員及び講師活動

- | | |
|-------------------------|------|
| ・神奈川県看護部長会湘南地区委員 | 春日慶子 |
| ・湘南ナース総合支援センター拡大委員会メンバー | 春日慶子 |
| ・神奈川県看護協会医療安全推進担当者メンバー | 内田敏江 |
| ・神奈川県看護協会社会経済福祉委員会メンバー | 内田敏江 |
| ・湘南ナース養成プログラム運営協議会役員 | 石井由紀 |
| ・神奈川県看護連盟施設連絡員 | 齋藤美樹 |

2. 登録

- ・神奈川県看護協会災害支援ナース 恵崎香苗（外来）、蛭子典恵（療養病棟）

3. 実習受け入れ

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1) 湘南中央病院 | 湘南看護専門学校 |
| 2) わかば訪問看護ステーション | 慶應義塾大学看護医療学部・湘南看護専門学校 |

4. インターンシップ受入れ

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため受入れなし

5. 地域とのふれあい

- ・1日看護体験（高校生対象）
 - ・職業体験（中学生対象）
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため受入れなし

7 診療技術部

(1) 薬 局

当薬局ではすべての病棟に薬剤師を配置し、各病棟の特性に合った病棟業務を積極的に行っています。また、がん化学療法を行う個々の患者さんに担当薬剤師を配置しシームレスな指導を実施したり、在宅診療科や訪問看護ステーションと協力しながら、患者さん宅に訪問し薬剤指導なども行い、患者さんやそのご家族に寄り添った薬剤管理や指導を心がけています。

病棟での活動では、カンファレンスへの出席、回診の同行に加え、院内の ICT、NST、褥瘡回診チームなど、他職種との連携にも力を入れています。

また、地域の薬剤師との連携を目指し、研修会などを企画しながら顔の見える連携を目指しています。

患者さんや医師のニーズに合わせ、院内製剤として坐薬や外用剤などの作成や、高カロリー輸液や抗がん剤、在宅で使用する持続皮下注入器の薬剤などを無菌的に調剤して提供しています。

薬学実習生を受け入れ、未来の薬剤師の育成にも力を入れています。

当院では、薬剤師が医薬品安全管理者と共に医薬品の安全管理を推進しており、薬歴や服薬指導記録等を IT 管理するなど、安全かつ効率化を図りながら、安全な薬物治療を提供すべく、薬局一同、日々努力しています。

(2) 放射線課

放射線課スタッフは、放射線技師 7 名 (男性 5 名、女性 2 名)・看護師 1 名に加え、非常勤放射線科医 2 名 (交代勤務)・受付事務 2 名 (交代勤務) で日常業務を行っております。

業務内容は、外来や病棟部門の一般撮影・CT 検査・MRI 検査・透視造影検査・骨密度測定検査などを行っております。健康管理センターの業務としては藤沢市がん検診 (肺・乳房・胃) を行っております。

主な画像診断機器は、一般撮影装置 2 台・マンモグラフィ装置・MDCT(64ch) 装置・MRI(1.5T) 装置・X 線 TV 装置・ポータブル X 線撮影装置 2 台・骨密度測定装置・外科用透視装置 (手術室) が稼働しております。撮影した画像は医療用画像管理システム (PACS) を用いて院内配信をしております。

また、検査画像は院内読影に加え、外部の遠隔読影サービスも利用しており、読影結果を毎日配信しております。

2023 年度 放射線課・検査別件数

一般撮影	19579	マンモグラフィ	405
胃透視	137	CT	2707
DIP	61	MRI	1091
骨密度	478		

(3) 臨床工学課

1. 透析センター業務

透析センター内の医療機器の保守管理及び穿刺などの臨床業務を行います。

2. 手術室業務

麻酔器、患者監視装置、電気メスなどの医療機器の日常点検及び定期点検を行います。
また、内視鏡手術における機器の操作を行います。

3. ME センター業務

医療機器（薬液注入ポンプ等）の中央管理を行い、定期点検や人工呼吸器の運営を行います。
ME センター内における年間の保守点検件数はおよそ 1648 件、機器の貸し出し件数は年間 432 件前後です。

4. 外来内視鏡関連業務

内視鏡機器、ファイバースコープ等内視鏡関連の装置を管理しています。

(4) 臨床検査課

医師は病気の診断・治療を行ううえで、体内の必要な情報を得るために、血液・尿・細胞や心電図検査、超音波検査、呼吸機能検査などの検査を依頼します。

これらの検査を「臨床検査」といい国家試験に合格した「臨床検査技師」によって、正確・迅速に検査されます。

臨床検査課は大きく分けて「検体検査部門」、「生理検査部門」に分かれます。血液検査、尿一般検査、輸血検査、感染症検査など患者さんから採取した血液・尿・便・体液を分析装置や顕微鏡、試験管などを使って検査を行なうのが「検体検査部門」です。新型コロナウイルス検査は精度の高い「抗原定量検査」および「リアルタイム PCR 検査」を行い、検査結果は依頼当日に報告しています。院外検査では、細菌検査や病理組織学的検査、細胞診検査を行っています。

超音波検査・心電図検査・呼吸機能検査・脳波検査・血圧脈波検査・24 時間ホルター心電図・24 時間血圧計検査など、直接患者さんに接するのが「生理検査部門」です。

検体検査では、毎日各分析装置の精度管理を行っています。臨床検査結果は直接、間接的に健康状態、病態を反映し誤った検査結果は診断の遅れ、誤診につながるものが少なくありません。

そのため、業者による定期的な機器メンテナンス、内部精度管理の他、全国的な精度管理調査にも参加し、当検査課の分析装置の測定結果が正しいのか、超音波検査などの所見が正しいのか？など「外部（外部精度管理）」と比較し、日々、臨床検査課のレベル向上に努めています。

(5) 内視鏡室

当院内視鏡室は、上部（食道・胃・十二指腸）内視鏡、下部（大腸）内視鏡、気管支鏡、嚥下機能評価等の通常検査のほか、ポリープ切除術、消化管止血術、拡張術、ステント留置術、胃瘻造設術などの内視鏡治療も行っていきます。

また、希望される時には経鼻内視鏡や鎮静剤、鎮痛剤を使用した検査を行っています。

内視鏡に関わる、医師、看護師のほか、臨床工学課、健診センター、医事課、総務課スタッフと定期的な内視鏡連絡会議を開催し、情報の共有を図っています。

看護スタッフは、検査を受けられる患者さんの不安や緊張を軽減できるよう、援助するとともに、安全に検査、処置が行えるよう内視鏡機器の洗浄や、整備・点検の徹底、環境整備に日々取り組んでいます。

2023年度 内視鏡件数

検査名	件数	経鼻（再掲）
上部消化管	856	39
下部消化管	493	-
VE	6	-
緊急検査（再掲）	20	-
合計	1375	39

2023年度 内視鏡治療件数

治療名	胃・十二指腸	下部消化管	件数
止血術（硬化療法含）	7	-	7
ポリープ切除術	-	224	224
異物除去術	1	-	1
胃瘻造設術	5	-	5
胃瘻交換	37	-	37
その他 ブジー・ステント（胆・膵）・S状結腸整復	-	-	-
合計	50	224	274

(6) リハビリテーションセンター

急性期から回復期のリハビリを中心に行なっています。

急性期は整形外科の手術後のリハビリが中心で、骨折、変形性関節症（人工関節置換術等）、靭帯損傷、腱損傷が主な疾患です。当院には手の専門医、脊柱の専門医（非常勤）が在籍しており、術後のリハビリも充実しています。

ポスト急性期として、回復期リハ病棟と地域包括ケア病棟があり、脳血管疾患、整形外科疾患の術後及び保存的加療、また様々な疾患後の廃用症候群等、幅広くリハビリ目的の転院の患者さんに対応しております。施設基準は、脳血管 I / 運動器 I / 廃用症候群 I を満たしております。リハビリスタッフは、理学療法士 14 名、作業療法士 9 名、言語聴覚士 3 名、助手 1 名が在籍しています。（2024 年 3 月 31 日）

回復期リハ病棟では通常の機能訓練や ADL 訓練以外に、退院後の生活を踏まえ、バスや電車の利用といった事も、入院中から訓練の中で実施しています。また、必要な方には、患者さん、ケアマネージャー、家屋改修業者と一緒に患者さん宅を訪問し、退院後、生活環境が原因で ADL が低下しないよう、必要な家屋改修等の提案をしています。

当院は、急性期およびポスト急性期の病棟がある事で、急性期から回復期、退院に至るまで継続したリハビリの提供を行っています。また退院後、通院リハビリが必要な患者さんには、軽快または症状固定、算定期限に至るまでリハビリを継続しています。

(7) 栄養管理室

2024 年 6 月現在、管理栄養士 4 名体制です。

栄養管理室では、給食管理業務と栄養管理業務を行っており、患者さんの栄養状態の維持・改善を目指すことで早期の退院が実現できるように支援しています。

給食管理業務は、日清医療食品株式会社に委託しており、委託側の管理栄養士 1 名・栄養士 4 名・調理師 3 名・調理補助 20 名にて、1 日につき入院患者食 480 食、透析センター 5～10 食を提供しています。

病院における給食は食事であると同時に治療の一環として医療の上でも重要な役割を担っています。医師の指示のもと、それぞれの病態に応じた適切な献立を作成し、「安心しておいしく食べていただける」食事作りを目指し、食べることで体の内面から健康になるようにサポートをしています。また、行事に合わせた食事の提供により入院中でも季節を感じられるよう工夫をしています。

栄養管理業務では、入院患者さん一人一人に栄養管理計画書を作成し、栄養状態の維持や改善に向けた食事の検討や変更を行っています。栄養状態が不良の患者さんに対して補助食品をつけたり適切な食事の形態に調整をするなどの栄養治療にも取り組んでいます。患者さんにとって日常の食生活をそれぞれの病態にそった適切なものに改善し、習慣化するための知識や方法を習得することは治療効果をいっそう高めます。栄養相談では医師の指示に基づき実践可能なアドバイスをしていきます。入院・外来での栄養相談は、概ね 30 分から 60 分の予定で行います。栄養相談がきっかけとなり少しでも健康な生活を送っていただければと考えております。

8 健康管理センター

2020年より新型コロナウイルスによるパンデミックが起こり、それによりワクチンは大きく進歩しました。現在では更に複数の病原体を同時に免疫する2種混合、3種混合が開発中で世の中の的に今後のワクチンに関しては、非常に期待されています。

当健康管理センターでは、新型コロナウイルスや、インフルエンザ、肺炎球菌、带状疱疹等の各種ワクチン接種を行っており、特に新しいワクチンに関しては、分かりやすい説明をし、安心して接種していただけるよう心がけております。これからもワクチンの進歩と共に、ワクチンに対しての疑問や不安が生じるかもしれません。そんな時にはどうぞお気軽に健康管理センターにお立ち寄りください。

医師	2名（水曜日・木曜日の午前中のみ担当）
課長	1名（看護師）
看護師	1名
事務職	2名

2023年度 活動状況（件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
470	223	560	439	258	346	1188	1372	464	145	149	146	5760

（藤沢市がん検診・職員健診・予防接種、他）

9 事務部

（1）医事課

医事課は患者さんへのより良い対応、他部署との連携、保険診療の推進、診療報酬に基づく算定を目標に日々業務を行っています。

主な業務として次の6業務あります。

【業務内容】

- ①外来業務
- ②病棟業務
- ③保険請求業務
- ④診療録管理業務
- ⑤医業収入にかかわる届出業務（施設基準の届出、診療報酬加算）
- ⑥医事統計資料作成業務

(2) 総務課

総務課は、経理・財務、人事、総務、庶務、施設管理に関する業務を総勢 8 名で行っています。経理・財務は統括事務部長のもと月次決算資料等の経営管理資料を作成しています。また、毎月公認会計士（兼税理士）の会計・税務等の指導を受けながら、他部署と連携して効率的且つ適正な損益・財務管理の構築に努め、経営に役立つ資料作りに心掛けております。

労務・人事は社会保険労務士の指導の下、湘南わかばグループに所属する職員の入職・退職手続きや就業管理、人事考課関連業務、給与・税金計算、社会保険手続き、福利厚生、労働安全衛生等の業務を行っています。

総務・庶務面は外来医師担当表・医師当直表・担当医師の変更表等を院長の指示に基づき作成しています。また郵便物等の対外文書の収受、医学図書・事務用品の購入、医師・看護師等の白衣、職員ユニフォーム等の手配をしています。

施設管理面は院内環境整備と物品購買および施設維持管理業務（建物、ライフライン、消防・防犯設備、医療ガス、廃棄物等）、院内駐在業者（設備・清掃・リネン・警備・事務当直・SPD・売店）の管理を行っています。

その他、関連部署と連携して院内・委託先等との事務的な窓口として対応しています。

(3) 人事・広報課

人事・広報課は、法人職員の採用全般、広報、保育園管理などを行っています。法人の PR につながる関連業務を担当しています。

- ① 法人職員の採用業務
 - ・職員採用に関わる業務全般、HP 求人情報更新業務
- ② 広報業務
 - ・病院パンフレット等の印刷物の企画・制作
 - ・院内紙（湘南わかばグループニュース）の編集・発行（3 ヶ月毎）
- ③ 地域広報活動
 - ・院外紙（健康ニュース『わかば』）の編集・発行（季節発行：年 4 回）
 - ・今年度は、新型コロナの影響で健康フェスティバルは中止となりました
- ④ 業者折衝（人材紹介会社、人材派遣会社、業務委託会社等）
 - ・人材受入れ、選考、面接、交渉業務、契約関連、請求、勤怠管理など

(4) 営業推進室

2023 年度の営業活動報告

- ① 活動状況（情報交換、イベント打合せ、紹介依頼、広報営業等）
 - ・開業医・クリニック：医師紹介パンフレット配布営業
 - MRI/CT 検査の紹介営業：放射線科課長同行
 - 緩和ケア紹介営業：緩和ケア担当医・地域連携室課長同行
 - ・湘南大庭市民センター、藤沢福祉協議会、他 6 施設の定期情報交換 4 回 / 年
 - ・地域病院への営業活動
 - ・介護施設事業所での講座会：2 回実施
 - ・地域自治会とのイベント（健康キャラバン・相談）

②循環バス運行実績（2023年度）

ルート	乗車人数
湘南大庭	1,757名
西部団地・駒寄	985名
合計	2,742名

年間乗車数で2,742名の利用となりました。

利便性の向上を目指し運行して参ります。

今後とも無料循環バスの運行にご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

（5）IT推進室

医療情報システム、イントラネットの運営、ホームページによる患者・家族向け等情報発信、及び障害時の早期復旧を行います。

職員向け情報セキュリティ教育、情報漏洩対策等を実施します。

【業務内容】

- ・院内の情報処理システムの運用管理
- ・院内の情報通信ネットワークシステムの運用管理
- ・院内の情報機器のメンテナンスサポート
- ・ホームページの運営管理
- ・セキュリティ情報（リスク防止）の発信
- ・院内IT教育・支援

【今後の推進案件】

- ・薬剤・調剤管理システム更新（2024/08 更改予定）
- ・健診システム更新（2025/01 更改予定）
- ・PACSシステム更新（2025/01 更改予定）
（待合表示システム更新（一部を含む））
- ・ネットワークインフラ更新
- ・マイナンバー連携

など

10 診療支援部門

（1）診療情報管理室

診療情報管理室は診療情報を体系的かつ一元的に管理し、有効に活用しています。入院患者に関しては世界保健機関の国際疾病分類（ICD－10）に基づいて病名等のコーディングを行い、DPCデータ提出やがん登録に活かしています。また、診療録（カルテ）やレントゲンフィルム等を病歴室にて管理、必要に応じて院内貸出等を行っています。また人員体制は常勤の診療情報管理士1名、非常勤4名です。

＜主な業務内容＞

1. DPC 関連業務

DPC データ提出加算に係るデータの入力やエラー修正と提出までの統括業務を行う

2. がん登録

がん登録推進法に基づき全国がん登録に係る調査及びデータ入力・提出を行う

3. 診療記録の開示

①診療録（カルテ）の開示 ②レントゲンフィルム、各種検査データ等の開示

4. 診療記録の管理及び貸出

入院診療録、外来診療録、レントゲンフィルム等を病歴室にて管理する。診療記録の貸出も適確に行う

5. 整形外科学会症例登録

日本整形外科学会の症例登録事業（JOANR）に参画し、整形外科の医師や手術室と連携を取りながら登録業務を執行する

（2）地域医療連携室 / 患者・家族相談室

地域医療連携室 / 患者・家族相談室は、現在責任者（社会福祉士）1名、社会福祉士4名、看護師1名、事務員1名の計7名で対応しています。病院と病院の連携、病院と診療所の連携といった医療機関同士を繋ぐ役割と退院支援、福祉制度の案内といった病院と生活の場である地域を繋ぐ役割を担っています。どちらの面も地域で暮らす方々が、安心して切れ目のない診療、介護を受け、生活を送ることができるようにしていくための活動です。また、患者さんやご家族、関係機関からの苦情やご意見の窓口にもなっており、病院をより良く改善し、対策が行えるよう真摯にお話をうかがっています。伺いました内容は該当部署や上層部と協議し、対応しております。

2023年度の活動件数は、延べ9796件あり、入院相談に関しては、延べ3779件対応しております。緩和ケア病棟、療養病棟と回復期リハビリテーション病棟については、相談を進めるに際し、合計1226件の判定会議を実施し、医師や看護師と協議しながら、入院調整を図っています。

また医療機関ごとの機能分化が進んでいる中で、当部署としてはいかにスムーズに対応していくかを日々、検討しながら対応しております。コロナ禍による影響で直接訪問を控えておりましたが、今年度については、営業推進室と相談しながら連携を図っているクリニックへの訪問をさせて頂いたり、緩和ケア病棟へご紹介くださる訪問診療先にご挨拶に伺ったりと少しずつ活動を再開してきました。湘南東部医療圏内での連携部門の協議会が正式に立ち上がり、その会合への参加を当院も積極的に行い、院内へ情報が反映できるよう活動しております。

(3) 医療安全管理室

医療安全管理室の構成メンバーは診療部門、薬剤部門、看護部門、臨床工学士、事務職員の5名が専任として活動しています。

2023 年度目標評価

①	目標 事故発生後に改善計画が立てられ再発防止に繋げる
	成果責任 1. 報告書をもとにラウンドの実施（原則毎週火曜日） 2. 医療安全管理委員会にて改善結果の報告ができる 3. インシデント・アクシデントレポートの内容確認
	評価方法 1. ラウンドの実施状況 2. 改善結果内容の状況 3. 医療安全管理委員会での報告状況 4. インシデント・アクシデントレポートの報告件数・内容
	評価 改善レポートをもとにラウンドを行っており、事象発生後より3か月間対策を立てて実践している。来年度は自部署の業務改善計画の立案、対策、評価まで行い、その部署の目標に対する取り組みをラウンドにて確認することを追加し行く予定。報告数は949件と増加傾向にあり、報告文化の醸成に繋がっている。ヒヤリハット71%、レベル3以上が4.7%はハインリッヒ理論の経験則に基づいている。今年度発生した転落事故を教訓として継続的な共有、対策実践を行う。
②	目標 医療安全小委員会活動推進
	成果責任 1. 医療安全小委員会での活動 ・患者誤認チームの活動推進 ・転倒転落チームの活動推進 ・報告件数の維持
	評価方法 1. 各チーム活動の進捗状況 2. インシデント・アクシデントレポートの報告件数・内容
	評価 今年度も小集団活動は、患者誤認と転倒転落に関して取り組んだ。 医療機能評価機構主催のセミナーに『患者・家族参加型の転倒転落対策への取り組み』の発表を行った。またケアコム株式会社の協力のもと完成した患者向けポスターの掲示を行っている。家族向けパンフレットは来年度使用開始予定。
③	目標 医療安全管理のための研修の実施
	成果責任 1. 医療安全小委員会が主体となった研修の開催 2. 研修の企画・実施・評価
	評価方法 1. 研修の開催状況 2. 研修参加状況
	評価 今年度は患者誤認を防ぐための4つの取り組みについての研修を主催した。 イントラネットでの自作動画視聴と学研eラーニング視聴後のミニテストを行った。報告されたデータをもとに作成した研修動画である為、わかりやすい内容であった。受講率99%
④	目標 医療安全に関する地域連携の推進
	成果責任 医療安全地域加算1の施設の評価
	評価方法 1. 医療安全地域加算1の施設の評価内容 2. 改善項目に対する評価
	評価 2023年1月30日ラウンド評価を実施した。医療安全相互チェックシートをもとに互いの意見交換を行った後、薬局内のラウンドをして頂いた。 薬剤に関するヒヤリハット報告が多いことから、薬局内のハード面の改善点に関して、今後検討していきたい。

11 わかば保育園

【保育理念】

こども一人ひとりの心に寄り添う「あったかい保育」

【保育目標】

心身ともに明るく元気な子

思いやりの気持ちを持って行動できる子

いろいろなことに興味を持てる子

【保育方針】

発育段階を的確にとらえ、ひとりひとりの個性を大切に育てる

友達との関わりを通じて、やさしい気持ちを育む

やりたい、やろうとする気持ちを尊重し、環境作りに務める

保護者と連携し、共に成長を支え見守る

現在、園長（人事・広報課兼務）、保育士5名（常勤:2名、非常勤:3名）で保育業務を行っております。開所日は365日、利用時間は7:45から18:00（延長19:00迄）、定員は17名で、生後57日目（0歳）～小学校就学前を対象としており、利用は医師・看護職をはじめ、全職種の職員が利用できます。

職員の配置は〔0歳児／1:3、1～2歳児／1:6、3歳児／1:20、4歳以上1:30〕児童福祉施設最低基準を基準としていますが、園児の状況に応じて保育者複数体制としております。

主に、認可保育園待機児童や幼稚園就園前児童、短時間勤務職員の園児などの常時保育と通常認可保育園に預けている園児の日祝祭日や年末年始利用の一時保育を行っております。

第 2 部

湘南わかばグループ 施設紹介

1 わかば訪問看護ステーション

わかば訪問看護ステーションでは「住み慣れたところで安心して暮らす・自分らしく生きることを支える」ため、訪問看護・リハビリを提供しています。職員構成は、看護師7名、理学療法士2名、作業療法士1名、事務2名です。ひと月あたりの平均利用者数は108名、平均訪問件数は看護404件/月・リハビリ175件/月でした。利用者の主治医は、湘南中央病院が62%であり、在宅診療科、外来通院、当院退院直後の患者さんに多くご利用いただいています。その一方で、公立病院や大学病院、近隣の診療所などの様々な医療機関の医師からも指示を受け、訪問看護は「家と病院」「生活と医療」をつなぐ役割を担っています。

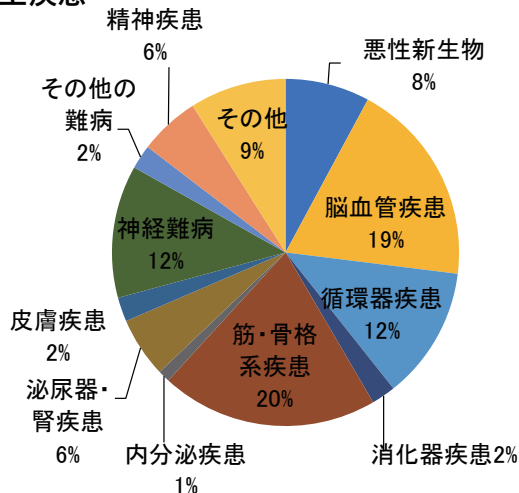
また、機能強化型訪問看護ステーションとして、常勤職員の確保、24時間対応、人材育成の実習の受入、ターミナルケア等、体制やサービスの質の確保に努力しています。

在宅でのお看取り(ターミナルケア)件数は18件<内訳:がん末期や難病等の医療保険15件、老衰等の介護保険5件>でした。また、最期の時を病院で迎えることを希望された方は14件でした。その人らしい生き方が選択できるよう、今後も自己決定支援やご家族への支援に尽力していきたいと思ひます。

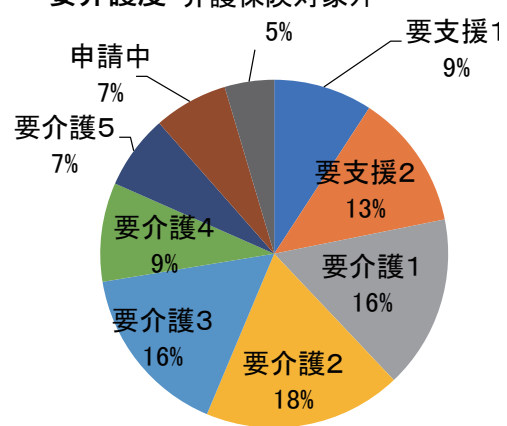
実習の受入としては、大学・看護学校学生実習や、他事業所の介護職員への喀痰吸引等指導、地域の看護師の訪問看護同行見学、訪問看護認定看護師実習を実施しました。今後も在宅療養の担い手の育成に貢献していきたいと思ひます。

これからも地域と共に歩み、ひとり一人に安心・安全をお届けできるよう努めて参ります。

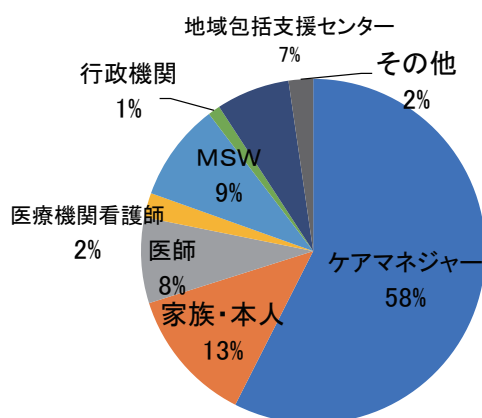
主疾患



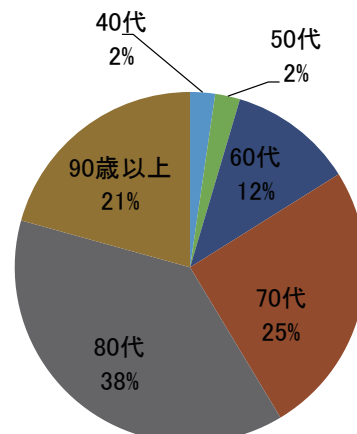
要介護度 介護保険対象外



依頼経路



年齢

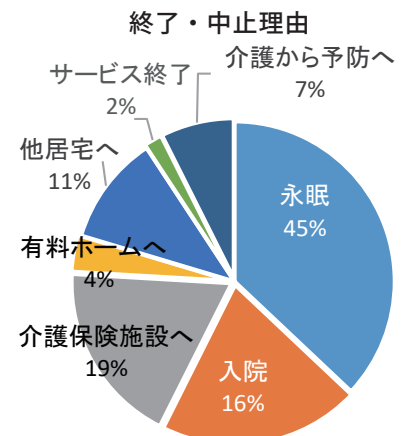
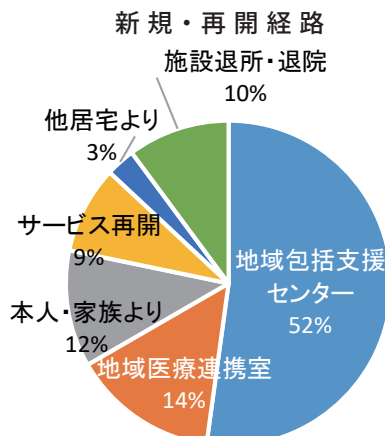
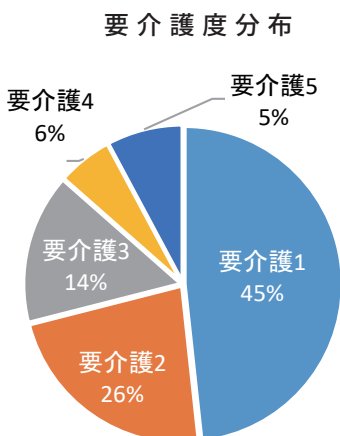
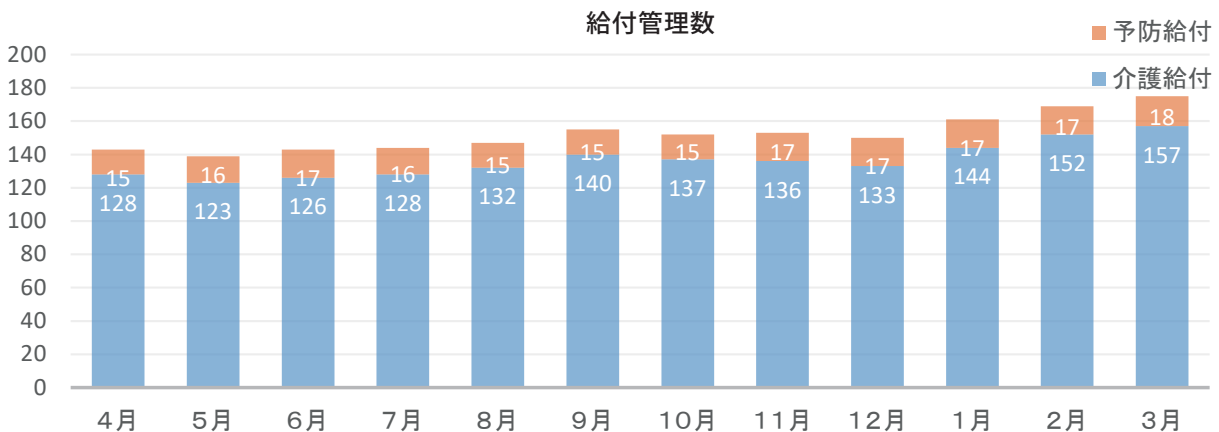


2 若林会居宅介護支援事業所

当法人では、2000年の介護保険制度施行と同時に「居宅介護支援事業所」を発足・運営しています。地域の要介護認定を受けた方からの相談を受け、2023年度は月平均介護給付136件、予防給付16件のケアプランを作成しています。

【事業所業務】

- 2023年度の居宅サービス計画（ケアプラン）の作成件数は介護計画1636件、予防計画195件でした。
- 少なくとも原則月1回利用者宅を訪問し、ご本人・ご家族と面接を行い、居宅サービス計画の実施状況の把握や体調の確認をしています。
- 介護認定の更新時期や、ケアプランに変更があった時等、決められた時期にサービス担当者会議を開催し、各サービス事業所より専門的な見地から意見聴取し、ケアプランを開始します。
- 介護保険認定更新時や変更申請の手続きを、ご本人・ご家族より依頼を受け住民票のある保険者へ代行申請します。
- 介護保険要介護認定訪問調査（2023年度実績73件）を行い、調査票を作成し保険者に提出しました。
- 24時間連絡体制を確保し、時間外や営業日以外にも利用者からの相談を受け付けられるような体制を整えています。
- 自宅以外での暮らしを希望された際に、介護保険施設等の入所に関する調整や相談、情報提供を行い、スムーズに移行できるよう支援しています。
- 地域包括支援センターや医療機関、保険者、各サービス事業所との連携を図り、必要な支援が迅速に提供できるよう努めています。



3 藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）

地域包括支援センターは、住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、様々な方面から高齢者の皆さんを支える機関です。藤沢市では、地区ごとの民生委員・児童委員協議会の担当地域の13地区を基本として、19カ所（高齢者人口の多い鵜沼・藤沢・辻堂・大庭・善行・六会地区には2カ所）に設置されています。

当法人では、藤沢市の委託を受けて運営しています。看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士の三職種が、それぞれの専門性を活かして互いに連携をしながら、チームとして総合的に対応しています。担当地区は、辻堂神台と城南・羽鳥・辻堂新町・大庭・稲荷の各一部です。明治地区の高齢者の人口は2023年4月1日時点で7,113人、高齢化率は21.71%です。藤沢市の高齢化率は24.43%なので、市内の平均以下ですが、それでも2040年には高齢化率が約33%となる見込みです。

「団塊の世代」が全て後期高齢者となる2025年に向けて、介護が必要な状態でも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るように、藤沢市では「藤沢市型地域包括ケアシステム」の構築が重要とされ、多様な主体との協働による「地域のつながり」を重視した支えあいの地域づくりに向けた様々な取組が行われています。当包括でも地域に根差した活動を目指して、2023年度は計14カ所の公園での介護予防・健康増進の為に定期的な体操やサロンを開催したり、ケア会議の開催による地域課題について関係者との議論を深めたりする等、様々な活動を行なっています。

地域活動については、コロナウィルス感染防止中止されていたふるさと祭りが再開されるなど、徐々に増えてきている状況です。公園体操は感染予防・熱中症に配慮して行い、多くの参加があります。

公園体操・・・・・・・・・・	14カ所 250回実施	サロン活動・・・・・・・・・・	22回実施
地域団体等での挨拶、ミニ講話・・	17回実施	地域会議等・・・・・・・・・・	36回実施
定例会・・・・・・・・・・	12回実施	研修・・・・・・・・・・	15回実施
認知症サポート養成講座・・・・・・・・	1回	看護実習生受け入れ・・・・・・・・	21回

相談内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	282	287	306	260	277	235	314	248	249	228	292	272	3250
来所	72	73	68	68	66	73	86	61	61	62	57	56	803
電話	597	682	662	639	655	737	669	681	693	710	733	734	8192
他	1	5	4	8	1	3	3	2	5	5	3	2	42

給付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
委託	108	109	108	109	112	111	104	100	105	101	101	101	1269
直営	236	245	246	241	240	241	250	243	251	251	258	250	2952

藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）

藤沢市辻堂神台2-2-1 アイクロス湘南2階 営業時間 月～金 8:30～17:00

TEL 0466-35-2811 FAX 0466-35-2875 ※夜間等は転送電話で24時間対応します

4 介護老人保健施設 湘南わかば苑

施設長あいさつ

湘南わかば苑 施設長 呉 鐵仁

2024年4月1日から管理者を引き継ぎ運営しております。

2023年度を振り返ると新型コロナウイルスの発生がありましたが終息させ大事には至りませんでした。2023年5月の5類移行後、徐々にコロナ前の状態に戻しつつありますが、今現在も職員は感染対策を同様に続け看護・介護サービスを提供しております。面会は元に戻しご家族様と直接触れ合うことが出来るようになり、利用者さまと職員に取って大事なことと感じております。

また地域へ健康講座、健康イベント等の催しを実施しており健康増進について地域の皆様と一緒に取り組むことが出来ました。来年度、2025年問題を迎える中で老人保健施設は今後も進行していく高齢化社会を支える中核的施設であるとの気概を持ってこれからもわかば苑がモットーとしている「元気の出るリハビリ、あたたかい介護、楽しい食事」を提供してまいります。

また在宅へのサービス事業（訪問リハビリテーション等）については今まで以上に広げ地域に出て行く所存です。

施設概要

- 開設 2000年（平成12年）12月
- 住所 藤沢市石川591番地
- 電話 0466-89-0551
- 建物 鉄筋2階建（延床面積：3982㎡）
- ベッド数 100床（うち認知療養室16床）
- 通所リハビリテーション定員 20名/日
- 職員数 77名（2024年3月末現在）

（内訳）

医師1名 / 薬剤師1名 / 看護師8名 / 介護職43名 / 理学・作業療法士9名 /
言語聴覚士1名 / 支援相談員1名 / 介護支援専門員1名 / 管理栄養士1名 /
事務員6名 / 運転手5名



湘南わかば苑 リハビリ室の活動

湘南わかば苑リハビリ室は、作業療法士5名、理学療法士3名、言語聴覚士1名、クラーク1名、計10名のスタッフにて長期入所・短期入所・通所・訪問利用者様のリハビリテーションを実施しております。

地域の中核をなすリハビリテーションの施設を目指し、当苑各サービスの連動だけでなく、地域事業所との連携も強化しております。2023年度は人員配置を見直し業務を効率化、訪問リハビリにおける医師の往診率100%を達成し、減算解消を行い、昨年度より収益を上げることが出来ました。

引き続き藤沢市委託事業（訪問型サービスC、地域ケア会議等）へ積極的に参画し、地域貢献活動もチームで協力しながら取り組んでおります。

	介護報酬算定項目	実施件数
訪問	訪問リハビリテーション	9524回
	短期集中リハビリテーション加算	112回
	医師による未診療減算 解消	8145回
通所	短期集中リハビリテーション加算	117件
	運動器機能向上加算	67回
短期入所	リハビリテーション実施加算	532回
入所	短期集中リハビリテーション加算	2393回
	認知症短期集中リハビリテーション加算	842件
	訪問型サービスC	30件
藤沢市事業受託	地域ケア会議	14件
	家族介護者教室	2件

湘南わかば苑 栄養室

I. 方針

栄養室では『楽しい食事』をモットーに、美味しく個々に対応した喜ばれる食事を提供できるよう日々努力しています。嚥下困難な方へソフト食を導入し、より安全な食事提供にも力を入れています。

II. スタッフ体制

職員：管理栄養士1名 委託職員：栄養士1名・調理師1名・調理補助9名

III. 2023年度実績

【介護報酬算定】

	介護報酬算定項目	実施件数
入所	経口移行加算	135件
	経口維持加算Ⅰ・Ⅱ	749件
	療養食加算	22996食
通所	栄養スクリーニング加算	96件

【食事提供数】

	入所	短期	通所	職員	合計
2023年 4月	8,184	155	342	406	9,087
5月	8,504	143	354	417	9,418
6月	8,164	162	396	439	9,161
7月	8,620	163	360	422	9,565
8月	8,465	176	413	476	9,530
9月	8,127	313	348	433	9,221
10月	8,445	145	352	435	9,377
11月	8,330	131	332	414	9,207
12月	8,146	103	354	420	9,023
2024年 1月	8,149	131	267	396	8,943
2月	7,661	70	307	400	8,438
3月	8,051	84	326	405	8,866
年間	98,846	1,776	4,151	5,063	109,836
前年比	△ 5,158	367	181	700	△ 3,910

2023 年度 年間行事

行事 月日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024年 1	2	3	備考
お誕生会	26	31	21	26	30	27	25	22	27	31	28	27	原則的には毎月最終水曜日 通所も該当者の利用日に合わせて開催
お花見	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	花見にちなんだおやつ提供 お花見外出中止
夏祭り	-	-	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	コロナウィルス感染防止のため中止
敬老会	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	賀寿表彰（卒寿・白寿・百寿） 松花堂弁当提供
クリスマス会	-	-	-	-	-	-	-	-	中止	-	-	-	コロナウィルス感染防止のためイベ ント中止 クリスマスランチメニ ューを 12/20 に提供
新年会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	餅つき 松花堂弁当提供
節分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	3	-	職員が鬼となり 1/31 に豆まき実施 イベント食は 2/3 に提供。通所も実施
端午の節句 ひな祭り	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	松花堂弁当提供 お赤飯・鯉のたたき・若竹和え など
手作りおやつ	-	-	15 16	-	-	-	-	16 17	-	-	-	12 13	梅シロップ・水ようかん・ さつま芋蒸しパン・桜餅 ※ 3月手作りおやつは通所のみ
調理レク	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	中止	キーマカレー ※コロナ対応にて 3月の調理レクは 中止
喫茶	20 21	-	-	20 21	-	-	19 20	-	-	-	15 16	-	おやつをメニューから選択 通所も実施（ロールケーキ・桜餅・ チョコレート・お煎餅など）
郷土おやつ	大阪	静岡	長崎	アイス	群馬	岡山	お芋	熊本	栃木	富山	和歌山	新潟	利用者事前投票にて 3品の中から選出 7月、10月はシリーズものから選出
消防訓練	-	-	28	-	-	-	-	29	-	-	-	-	
健康 フェスティバル	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

尚、季節の料理としておせち料理、七草、鏡開き、七夕、お月見団子・冬至など他多彩に計画されます。

定例のレクリエーション

介護職員において、平日は楽しいレクリエーションを実施
 カレンダー作り 毎月（共同用・個人用）
 今年度は利用者さんと一緒に作る昼食として調理レクを 8月と 3月に実施
 季節レクとして 8/2 にスイカ割を、10/4 には各フロアで運動会を実施

以下のボランティアさんによるレクリエーションなどは新型コロナウイルスのため今年も中止としました。

書道
 朗読
 ハーモニカ演奏
 楽しく唄う会
 三味線
 シャンソン
 大庭中学校合唱部
 のぞみ幼稚園来苑

通所リハビリテーション利用者状況

① 年齢構成（2024年3月末現在）（人）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	計
男性	1	3	8	13	2	27
女性	1	3	4	16	4	28
計	2	6	12	29	6	55
比率（%）	3.6	10.9	21.8	52.7	10.9	100.0

② 要介護度および日常生活自立度（2024年3月末現在）（人）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	比率（%）
自立	-	-	-	-	-	-	0	0.0
J1	-	1	1	-	-	-	2	3.6
J2	3	2	1	-	-	-	6	10.9
A1	2	4	7	3	7	-	23	41.8
A2	-	5	6	3	1	-	15	27.3
B1	-	-	2	2	1	-	5	9.1
B2	-	1	-	-	2	1	4	7.3
C1	-	-	-	-	-	-	0	0.0
C2	-	-	-	-	-	-	0	0.0
計	5	13	17	8	11	1	55	100.0
比率（%）	9.1	23.6	30.9	14.5	20.0	1.8	100.0	

③ 地域別利用者数（2024年3月末現在）（人）

地域（住所名）	施設送迎	自送	計
大庭	14	-	14
石川	4	-	4
遠藤	4	-	4
善行	2	-	2
善行団地	7	-	7
善行坂	2	-	2
天神町	1	-	1
亀井野	3	-	3
みその台	1	-	1
稲荷	1	-	1
城南	2	-	2
羽鳥	4	-	4
藤沢	2	-	2
本藤沢	1	-	1
辻堂新町	2	-	2
辻堂	2	-	2
辻堂元町	2	-	2
鶴沼海岸	1	-	1
計	55	0	55
送迎割合（%）	100.0	0.0	100.0

2023 年度の入退所者利用者状況

湘南わかば苑 支援相談室

入所経路	人数	比率	前年数
老健	3	4.6%	2
病院	49	75.4%	42
有料ホーム	0	0.0%	0
在宅	13	20.0%	20
その他	0	0.0%	0
計	65	100.0%	64

(老健：内訳)

施設名	人数	比率	前年数
サニーヒル山寺 (山形県)	1	33.3%	0
ローズ (奈良県)	1	33.3%	0
青戸こはるびの里 (葛飾区)	0	0.0%	1
しょうじゅの里大和	0	0.0%	1
藤沢ケアセンター	1	33.3%	0
計	3	100.0%	2

(在宅：内訳)

地名	人数	比率	前年数
羽鳥	1	7.7%	1
辻堂	1	7.7%	0
辻堂太平台	2	15.4%	0
辻堂新町	1	7.7%	1
本藤沢	1	7.7%	0
本町	1	7.7%	0
大鋸	1	7.7%	1
善行団地	1	7.7%	0
鶴沼	2	15.4%	2
大庭	1	7.7%	2
宮原	1	7.7%	0
市外	0	0.00%	2
その他	0	0.00%	11
計	13	100.0%	20

(病院：内訳)

病院名	人数	比率	前年数
湘南中央病院	32	65.3%	21
藤沢市民病院	3	6.1%	1
藤沢湘南台病院	0	0.0%	0
湘南ホスピタル	2	4.1%	0
湘南第一病院	1	2.0%	0
湘南太平台病院	0	0.0%	0
湘南藤沢徳洲会病院	5	10.2%	3
湘南慶育病院	3	6.1%	12
茅ヶ崎徳洲会病院	1	2.0%	1
茅ヶ崎新北慶病院	0	0.0%	0
藤沢脳神経外科病院	0	0.0%	1
湘南大庭病院	0	0.0%	0
藤沢病院	0	0.0%	1
神奈川川北リハビリテーション病院	0	0.0%	1
桜ヶ丘中央病院	0	0.0%	1
その他 (市外)	2	4.1%	0
計	49	100.0%	42

2023 年度の退所経路状況表

退所経路	人数	比率	前年数
老健	3	4.2%	2
病院	19	26.4%	8
特養	18	25.0%	22
在宅	12	16.7%	12
有料ホーム	13	18.1%	6
看取り	7	9.7%	13
計	72	100.0%	63

(特養：内訳)

施設名	人数	比率	前年数
かりん	5	27.78%	2
白鷺苑	0	0.00%	0
ラポール藤沢	3	16.67%	2
愛光園	1	5.56%	0
藤沢特別養護老人ホーム	1	5.56%	3
芭蕉苑	3	16.67%	1
カメラリア SST	0	0.00%	3
グランドヴィラ湘南台	0	0.00%	0
藤沢富士白苑	1	5.56%	0
汐見台パシフィックス	0	0.00%	0
睦愛園	0	0.00%	1
グリーンライフ湘南	1	5.56%	0
みどりの園	1	5.56%	0
結の丘	0	0.00%	4
市外	2	11.11%	6
計	18	100.00%	22

(老健：内訳)

施設名	人数	比率	前年数
ケアパーク湘南台	1	33.33%	1
サニーヒル山寺 (山形県)	0	0.00%	1
ふれあいの桜	1	33.33%	0
孝穂館	1	33.33%	0
計	3	100.00%	2

(在宅：内訳)

地名	人数	比率	前年数
辻堂東海岸	1	8.3%	1
辻堂	2	16.7%	0
大庭	2	16.7%	3
羽鳥	1	8.3%	0
石川	1	8.3%	0
藤沢	1	8.3%	0
大鋸	1	8.3%	0
善行団地	1	8.3%	0
鶴沼	2	16.7%	1
市外	0	0.0%	3
その他	0	0.0%	4
計	12	100.0%	12

(病院：内訳)

病院名	人数	比率	前年数
湘南中央病院	13	68.42%	5
湘南藤沢徳洲会病院	1	5.26%	2
藤沢市民病院	3	15.79%	1
湘南鎌倉総合病院	1	5.26%	0
長岡病院	1	5.26%	0
計	19	100.00%	8

(有料ホーム：内訳) ※サービス付き高齢者住宅、グループホーム等

施設名	人数	比率	前年数
メディカルホームグラнда辻堂	0	0.0%	1
ミモザ藤沢	0	0.0%	1
サニーライフ藤沢	0	0.0%	1
サンライズヴィラ綾瀬	0	0.0%	1
メゾンかえで	0	0.0%	1
真心生楽館	2	15.4%	1
グラントン藤沢	1	7.7%	0
ココファンメゾン鶴沼	1	7.7%	0
ココファンメゾン大庭	1	7.7%	0
サンライズヴィラ藤沢六会	1	7.7%	0
クロスハート湘南台2番館	2	15.38%	0
ミモザ藤沢湘南台新館	1	7.69%	0
ケアパークヴィラ湘南	1	7.69%	0
メールブルー鶴沼	1	7.69%	0
なごやかレジデンス高座渋谷	1	7.69%	0
ふるさとホーム足利	1	7.69%	0
計	13	100.00%	6

※ (施設内での看取り)

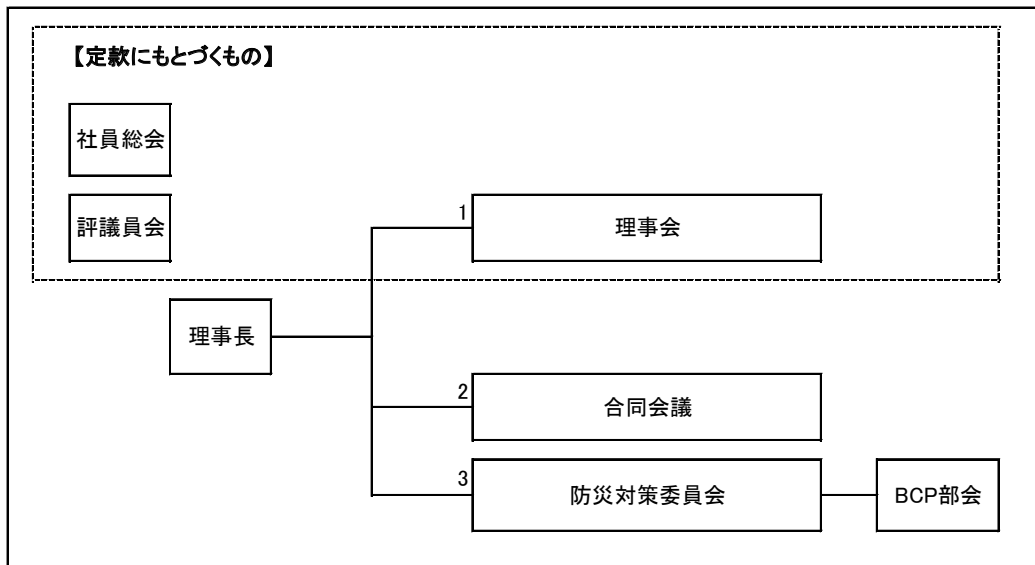
性別	年齢	介護度	入所前の生活場所	永眠	
女性	102	5	湘南中央病院	4月26日	
女性	95	1	在宅	7月28日	
男性	87	5	秋山脳神経外科病院	9月20日	
男性	88	3	湘南中央病院	12月8日	
女性	94	3	在宅	12月20日	
女性	89	3	湘南中央病院	12月27日	
女性	98	4	在宅	3月7日	
男性	女性	計	前年数	平均年齢	平均介護度
2	5	7	13	93.3	3.42

第 3 部

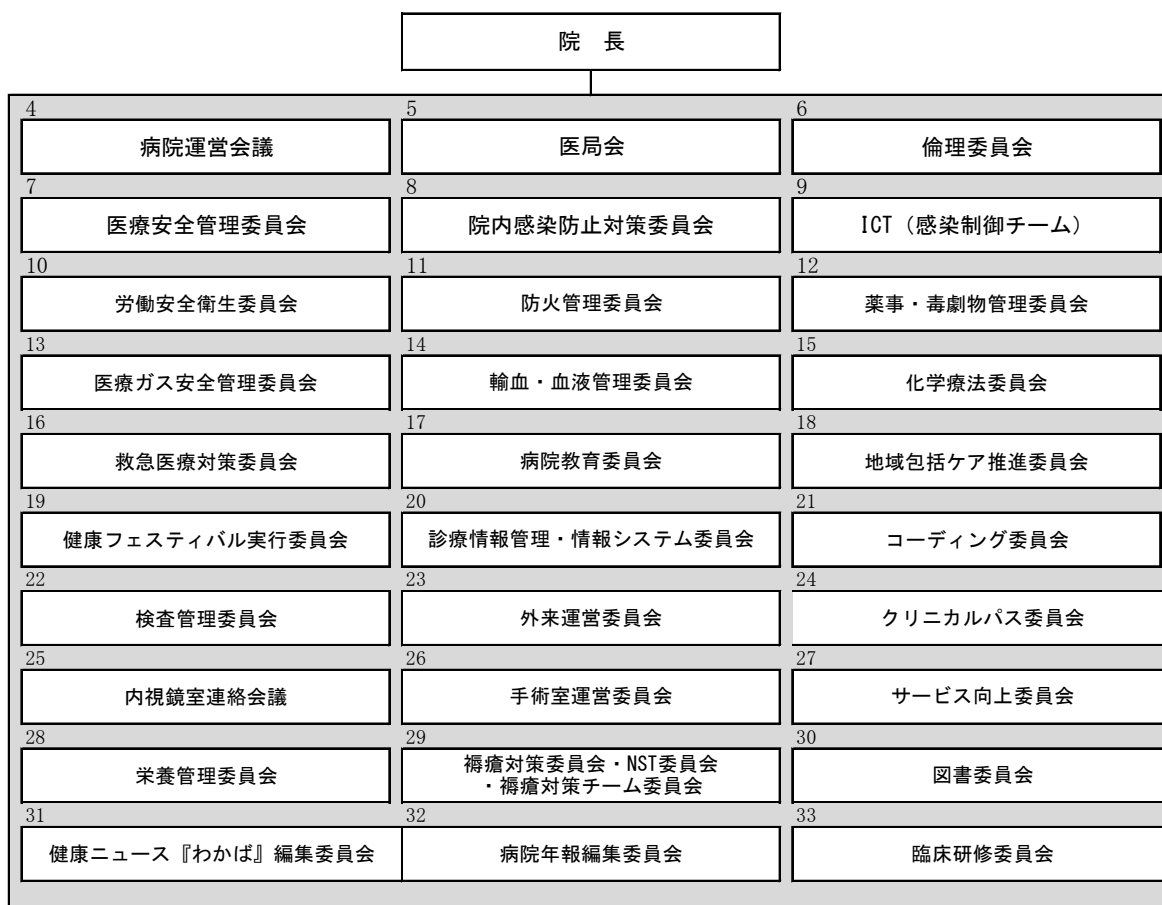
法人活動

1 定例会議・委員会

(I) 医療法人全体



(II) 湘南中央病院



その他

責任者会議(自主的)

2 研究実践実績

学会発表

表 題	発表者名	年月日	学会名
指 PIP 関節背側脱臼骨折に対する手術療法— mini-plate 固定を試行した 37 例の検討—	池田全良、小林由香、中島大輔、石井崇之、吉田進二、齋藤育雄	2023/4/20-4/21	第 66 回日本手外科学会
母指 CM 関節症における wide-awake surgery による suture suspension arthroplasty の有用性	吉田進二、高木岳彦、小林由香、池田全良、齋藤育雄、渡辺雅彦	2023/4/20-4/21	第 66 回日本手外科学会
脳梗塞後の尿閉に対して作業療法が出来る事を考える	矢野竜也	2023/5/26、27	第 36 回日本老年泌尿器科学会
指の基節骨基部骨折に対する intrafocal pinning 法	石井崇之、吉田進二、渡辺雅彦、中島大輔、小林由香、齋藤育雄、池田全良	2023/6/17	第 178 回神奈川整形災害外科研究会
指の DIP 関節背側脱臼骨折に対するプレート固定の試み	池田全良、小林由香、中島大輔、齋藤育雄	2023/6/29-2023/7/1	第 49 回日本骨折治療学会
重度の高次脳機能障害と麻痺を呈しているも、自宅退院後トイレ自立に至った事例	矢野竜也	2023/6/29～7/2	第 60 回日本リハビリテーション医学会
地域包括支援センター専門職の継続就労に関する一考察	田代 真樹	2023/9/17	NPO 法人地域共生を支える医療・介護・支援ネットワーク愛と平和がつくる地域共生社会実践交流会
地域包括支援センターにおける医療・介護のと連携～地域ケア会議を活用した連携に関する一考察～	田代 真樹	2023/9/17	NPO 法人地域共生を支える医療・介護・支援ネットワーク愛と平和がつくる地域共生社会実践交流会
指の DIP 関節背側脱臼骨折に対する治療経験	池田全良、中島大輔、小林由香、齋藤育雄、吉田進二、石井崇之	2023/10/21	第 29 回神奈川上肢研究会
軽微な刺創から小指内転障害を来した 1 例	石井崇之、吉田進二、中島大輔、小林由香、池田全良、齋藤育雄、渡辺雅彦	2023/10/21	第 29 回神奈川上肢研究会
肘頭骨折に対する tension band wiring 手術時の合併症を減らす手技の工夫	中島大輔、池田全良、石井崇之、小林由香、齋藤育雄、渡辺雅彦	2023/10/21	第 29 回神奈川上肢研究会
当科における橈骨遠位端骨折の背尺側骨片に対する治療	吉田進二、石井崇之、中島大輔、小林由香、池田全良、齋藤育雄、渡辺雅彦	2023/10/21	第 29 回神奈川上肢研究会
自立患者の転倒転落を予防せよ～医療安全小委員会の取り組み～	山本 雅史	2023/11/7	認定病院患者安全推進協議会 検査・処置・手術安全部会
長母指伸筋腱皮下断裂に対する腱移行術 -WALANT surgery での治療成績-	池田全良	2024/1/17	藤沢市医師会整形外科医会診療連携の会
相談援助業務従事者の働きやすい地域とは～地域包括支援センターの立場からの一考察～	田代 真樹	2024/2/17	第 21 回 神奈川県介護支援専門員研究大会
第 4 第 5CM 関節脱臼骨折の変形治療に対して中手骨および有鉤骨の矯正骨切り術を施行した 1 例	池田全良、中島大輔、小林由香、齋藤育雄、吉田進二、石井崇之	2024/02/03	第 38 回東日本手外科研究会
上腕骨遠位端の病的骨折を来した多発性骨嚢腫の 1 例	池田全良、小林由香、齋藤育雄、中島大輔、石井崇之	2024/3/1-3/2	第 36 回日本肘関節学会
広背筋回転皮弁を用いて肘関節の屈曲を再建した 2 例	小林由香、吉田進二、石井崇之、中島大輔、齋藤育雄、池田全良、渡辺雅彦	2024/3/1-3/2	第 36 回日本肘関節学会

表題	発表者名	年月日	学会名
骨髄炎を伴う化膿性肘関節炎に対し、CLAPを併用した関節鏡視下デブリードマンにより治療した1例	石井崇之、吉田進二、中島大輔、小林由香、池田全良、齋藤育雄、渡辺雅彦	2024/3/1-3/2	第36回日本肘関節学会
陳旧性肋軟骨骨折に対して手術的治療を要した空手愛好家の1例	池田全良、中島大輔、小林由香、齋藤育雄、吉田進二	2024/03/15-03/16	第64回関東整形災害外科学会

学術誌・報告書等収録

表題	発表者名	年月日	学術雑誌名
Open reduction and internal fixation of dorsal fracture-dislocation of the proximal interphalangeal joint using a plate: a series of 37 patients	Masayoshi Ikeda, Kenji Serigano, Yuka Kobayashi, Ikuo Saito, Takayuki Ishii, Daisuke Nakajima	Jul-05	Journal of Hand Surgery (Asian-Pacific Volume); 28
Pinningでは困難を要する骨性マレットに対して縫合糸アンカーを用いて治療した術後成績	池田全良、中島大輔、小林由香、吉田進二、石井崇之、齋藤育雄	2023/12	整形外科; 74
変形性肘関節症術後に発症したガングリオンによる尺骨神経麻痺	池田全良、小林由香、齋藤育雄、中島大輔、石井崇之	Jul-05	日本肘関節学会雑誌; 30
Synovial Chondromatosis of Distal Radioulnar Joint with Osteoarthropathic Changes	Daisuke Nakajima, Masayoshi Ikeda, Yuka Kobayash, Ikuo Saito	2023	J Wrist Surg DOI: 10.1055/s-0044-1779625.

3 中堅幹部職員研修会

目的	<ul style="list-style-type: none"> ① 湘南わかばグループの中堅幹部（各課課長・主任および医局員）を対象に医療・介護機関が直面する諸々の課題についての研修会 ② 研修会においては各課の前年度の施策成果と今後の業務目標を発表する ③ 毎年テーマを決め、法人内外の講師による講演を実施する
メンバー	法人役員 医局員 各課課長・主任
開催回数	年1回
2023年度実績	<p>日時 2023年7月2日（日）9～12時</p> <p>会場 アイクロス湘南6階E号室（会議室）</p> <p>講演 ① Post-Coronaの医療展開－湘南中央病院の明日・明後日－ 講師 医療法人社団若林会 理事長 長田 博昭</p> <p>② 2024年度医療・介護同時改定に向けた病院経営対策について 講師 株式会社メディセオ 田村 真治 先生</p>

4 実習生受け入れ状況（2023年度）

受入施設	受入部署	派遣元	人数(名)	備考
湘南中央病院	看護部門	湘南看護専門学校	41名	基礎・成人・統合
	薬局	横浜薬科大学	3名	薬学部学生
	リハビリテーションセンター	帝京科学大学	1名	理学療法
		国際医療福祉大学	2名	理学療法
		横浜リハビリテーション専門学校	1名	作業療法
わかば訪問看護ステーション	看護部門	慶應義塾大学看護医療学部	4名	在宅看護論
		湘南看護専門学校	4名	在宅看護論
		神奈川県看護協会	2名	訪問看護入門研修
		聖路加国際大学認定看護師教育課程	1名	地域・在宅看護論
明治いきいきサポートセンター	看護部門	湘南看護専門学校	10名	在宅看護論
		藤沢市立看護専門学校	10名	在宅看護論
		神奈川衛生学園専門学校	9名	在宅看護論
合 計			88名	

5 湘南わかばグループ年間行事（2023年度）

2023年

4月 3日（月）入社式 / 総合オリエンテーション
 5月 20日（土）社員総会
 5月 26日（金）春季消防訓練
 5月 27日（土）評議員会
 10月 27日（金）秋季防災訓練

2024年

1月 10日（水）湘南わかば苑 第21回新年会
 3月 23日（土）社員総会
 3月 30日（土）評議員会

6 湘南わかばグループの地域活動

民協	12回(毎月第1水曜日)
二ツ家公園体操サロン	10回(毎月最終火曜日)
おしゃべりサロン	12回(毎月3・第4火曜日)
明治地区郷土づくり推進会議	12回(毎月第2火曜日)
芝の会	12回(毎月第3土曜日)
明治地区福祉推進会議	5回(2023/4/14、5/26、9/22、12/15、2024/3/15)
福祉推進会議主催映画会	1回(2023/11/18)
福祉推進会議講演会	1回(2024/2/4)
明治地区ふるさと祭り	2回(2023/10/28・29)
明治地区賀詞交歓会	1回(2024/1/6)
明治地区福祉窓口情報交換会	4回(2023/6/16、9/15、12/15、2024/3/15)
サテライト城南運営推進会議	6回(2023/5/22、7/24、9/25、11/27、2024/1/29、3/25)
ラポール城南地域医療連携会議	1回(2023/9/26)
明治地区介護者の集い	2回(2023/8/16、2024/3/22)
明治地区防災訓練	1回(2024/3/10)
特定事業所加算事例検討会	4回(2023/6/13、9/12、12/12、2024/3/12)
葡萄畑運営推進会議	2回(2023/6/17、2024/2/24)
辻堂図書館30周年記念イベント	1回(2023/7/1)
地区社協主催 お楽しみ会	1回(2023/11/10)
明治地区地域ケア会議	3回(2023/7/27、11/30、2024/3/14)
藤沢市居宅介護支援事業所新人研修講師	1回(2023/9/6)
令和5年度 指定サービス事業者に対する 運営指導の実施について(市介護保険課)	1回(2023/11/9)
駅前ハイツ認知症サポーター養成講座	1回(2023/8/5)
J-com 福祉体験教室	1回(2024/2/19)

7 施設案内

1. 湘南中央病院（開設 1955年2月1日）

所在地 〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥1-3-43

電話 0466-36-8151

F A X 0466-35-2886

U R L <https://www.swg.or.jp>

施設の面積

敷地の面積 7,095.89㎡ (2,146.5 坪)

建築延面積 11,324.52㎡ (3,425.7 坪)

敷地内駐車場 62 台

駐輪場 60 台

病床数 199 床

◆急性期病棟 52 床

◆地域包括ケア病棟 52 床

◆回復期リハビリ病棟 36 床

◆緩和ケア病棟 16 床

◆療養病棟 43 床

その他機能

透析センター・・・・・・・・・・35 床

在宅診療・・・・・・・・訪問診療、往診

健康管理センター・・藤沢市特定・後期高齢者健診、
藤沢市がん検診、特定保健指導、
ワクチン接種、禁煙外来

標榜科目

内科 消化器内科 消化器外科 外科 整形外科

皮膚科 肛門外科 リハビリテーション科 呼吸器内科

神経内科 循環器内科 放射線科 心療内科

泌尿器科 緩和ケア内科 精神科 腎臓内科（人工透析）

糖尿病内科 内分泌内科

2024年6月1日現在

2. 介護老人保健施設 湘南わかば苑（開設 2000年12月1日）

事業所番号 神奈川県 1452280022

所在地 〒252-0815 神奈川県藤沢市石川591

電話 0466-89-0551

FAX 0466-89-0501

URL <https://www.swg.or.jp/wakabaen/>

施設概要

療養室34室（4人部屋20室、2人部屋6室、個室8室）
機能訓練室、食堂、レクリエーションルーム、デイルーム、
家族介護教室、談話コーナー、診察室、介護相談室、一般介護浴室、
特別介護浴室、理・美容室、ボランティアルーム他

建物 鉄筋コンクリート2階造

延床面積 3,982㎡ 入所定員 100名 通所定員 20名

3. わかば訪問看護ステーション（開設 1994年1月1日）

事業所番号 神奈川県 1462290005

所在地 〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥1-3-43

電話 0466-35-5732

FAX 0466-35-1811

URL <https://www.swg.or.jp/wakabagroup/wgstation/>

4. 若林会居宅介護支援事業所（開設 2000年4月1日）

事業所番号 神奈川県 1472200011

所在地 〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥1-3-43

電話 0466-33-2916 0466-35-5768

FAX 0466-35-5752

URL <https://www.swg.or.jp/wakabagroup/wgcaresupport/>

5. 藤沢市明治いきいきサポートセンター（開設 2006年4月1日）

（地域包括支援センター）

事業所番号 神奈川県 1402200057

所在地 〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-1（アイクロス湘南2階）

電話 0466-35-2811

FAX 0466-35-2875

URL <https://www.swg.or.jp/wakabagroup/wgikiiki/>

施設案内地図



湘南中央病院

辻堂駅より徒歩8分 シャトルバス運行中（祝祭日運休）

JR 辻堂駅北口：湘南ライフタウン・慶応大学・湘南台駅・茅ヶ崎駅・「羽鳥1丁目」下車
 駐車場62台 駐輪場60台

湘南わかば苑

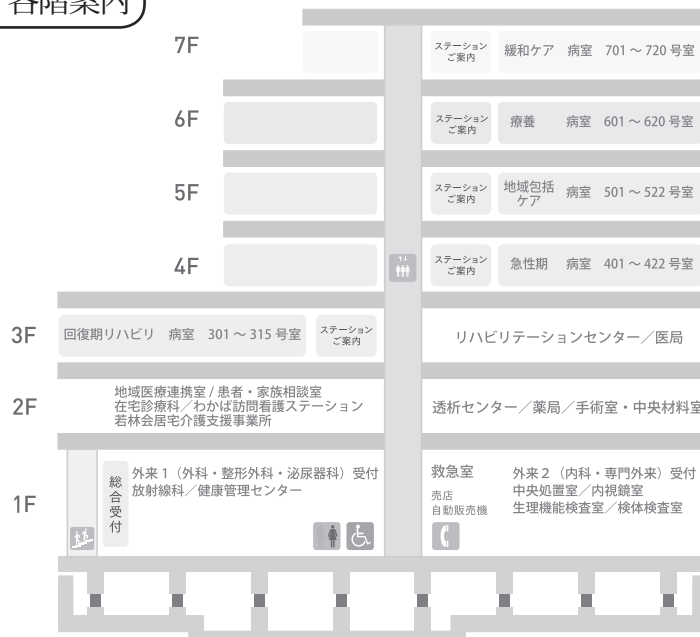
JR 辻堂駅北口：湘南ライフタウン・慶応大学・湘南台駅・茅ヶ崎駅・「二番構保健医療センター」下車

JR 藤沢駅：湘南台駅西口行き「五反田」下車

小田急湘南台駅西口：辻堂駅北口行き「二番構保健医療センター」下車

小田急湘南台駅西口：辻堂駅北口行き「五反田」下車

湘南中央病院 各階案内



■建物・構造 直接基礎 鉄筋コンクリート造 免震構造 地上7階

委員長	副院長（看護部長）
委員	外科部長 兼 診療部長
	内科部長
	泌尿器科医長
	急性期病棟課長
	地域包括ケア病棟課長
	回復期リハビリ病棟課長
	療養病棟課長
	緩和ケア病棟課長
	透析センター課長
	外来課長
	薬局課長
	放射線課課長
	臨床検査課課長
	リハビリテーションセンター 主任
	栄養管理室主任
	統括事務部長
	健康管理センター課長
	訪問看護ステーション所長
	湘南わかば苑 介護課長
事務局	人事・広報課長（わかば保育園 園長）
	総務課主任

湘南わかばグループ年報 第24号（2023年度版）

発行 2024年10月1日発行

発行者 呉 鐵仁

発行所 湘南わかばグループ（特定医療法人社団若林会）